



MSD44-58001/2/3/4/5/6/7/8

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はサイドスカート（MODELLISTA）をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

No.	品番	仕様	適合車種	年式
(A)	MSD44-58001-**	シルバーメッキ・塗装済品	ステップ無し車用	アルファード ヴェルファイア '23.5~
(B)	MSD44-58002-NP	シルバーメッキ・未塗装品(プライマー未処理)		
(C)	MSD44-58003-**	スモークメッキ・塗装済品		
(D)	MSD44-58004-NP	スモークメッキ・未塗装品(プライマー未処理)		
(E)	MSD44-58005-**	シルバーメッキ・塗装済品	ステップ付き車用	
(F)	MSD44-58006-NP	シルバーメッキ・未塗装品(プライマー未処理)		
(G)	MSD44-58007-**	スモークメッキ・塗装済品		
(H)	MSD44-58008-NP	スモークメッキ・未塗装品(プライマー未処理)		

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

■ 構成部品

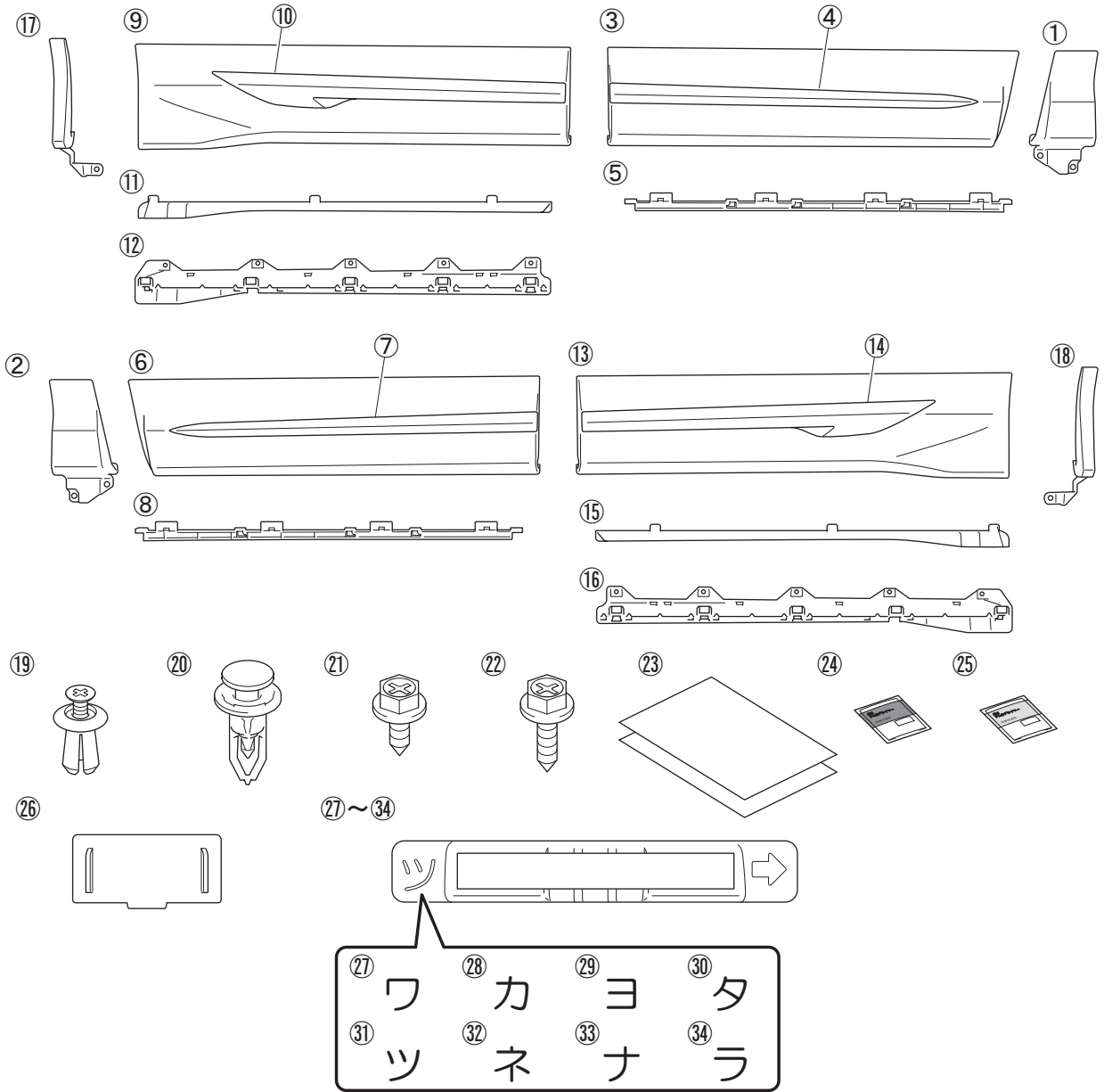
No.	部品名	品番	数量								備考
			Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ	
①	フロントフェンダースカートRH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
②	フロントフェンダースカートLH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
③	フロントドアスカートRH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
④	フロントドアスカートガーニッシュRH	————		1		1		1		————	
⑤	フロントドアブラケットRH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑥	フロントドアスカートLH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑦	フロントドアスカートガーニッシュLH	————		1		1		————			
⑧	フロントドアブラケットLH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑨	リヤドアスカートRH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑩	リヤドアスカートガーニッシュRH	————		1		1		————			
⑪	リヤドアブラケットRH	————	1	1	1	1	-	-	-	-	ステップ無し車用
⑫	リヤドアブラケットRH	————	-	-	-	-	1	1	1	1	ステップ付き車用
⑬	リヤドアスカートLH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑭	リヤドアスカートガーニッシュLH	————		1		1		————			
⑮	リヤドアブラケットLH	————	1	1	1	1	-	-	-	-	ステップ無し車用
⑯	リヤドアブラケットLH	————	-	-	-	-	1	1	1	1	ステップ付き車用
⑰	リヤフェンダースカートRH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑱	リヤフェンダースカートLH	————	1	1	1	1	1	1	1	1	————
⑲	樹脂クリップA	————	56	56	56	56	56	56	56	56	————
⑳	樹脂クリップB	————	4	4	4	4	4	4	4	4	————
㉑	スクリュー短	————	4	4	4	4	4	4	4	4	D6×20mm
㉒	スクリュー長	————	6	6	6	6	6	6	6	6	D6×23mm
㉓	型紙	————	1	1	1	1	1	1	1	1	RH用LH用(各1枚入)
㉔	PACプライマー N-200	08867-00220	1	2	1	2	1	2	1	2	赤袋
㉕	PACプライマー K-500	08867-00230	1	2	1	2	1	2	1	2	青袋
㉖	フロントドアブラケットスペーサー	————	8	8	8	8	8	8	8	8	車両側スカートに メッキモールが無い 車両に使用します
㉗	リヤドアブラケットスペーサー「ワ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉘	リヤドアブラケットスペーサー「カ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉙	リヤドアブラケットスペーサー「ヨ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉚	リヤドアブラケットスペーサー「タ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉛	リヤドアブラケットスペーサー「ツ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉜	リヤドアブラケットスペーサー「ネ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉝	リヤドアブラケットスペーサー「ナ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	
㉞	リヤドアブラケットスペーサー「ラ」	————	-	-	-	-	1	1	1	1	

以下、ⒷⒹⒻⒽ（未塗装品）のみに同梱

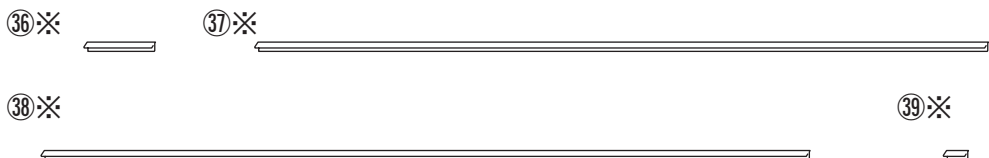
No.	部品名	数量	備考
⑳	エンドモール 92mm	2	ブラック
		2	ライトグレー
㉑	エンドモール 966mm	2	ブラック
		2	ライトグレー
㉒	エンドモール 1017mm	2	ブラック
		2	ライトグレー
㉓	エンドモール 26mm	2	ブラック
		2	ライトグレー
㉔	スクリュー	12	D4×10mm

※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、⑧⑩⑪⑫(未塗装品セット) のみに同梱



モール (※) 推奨使用色

色番号	色名称	モール色
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
202	ブラック	ブラック
4Y7	プレシャスレオブロンズ	ブラック
1L5	プレシャスメタル	ブラック

■ 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この警告に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

Ⓢ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- Ⓢ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- Ⓢ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- Ⓢ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- Ⓢ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- Ⓢ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- Ⓢ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- Ⓢ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- Ⓢ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
- Ⓢ 本商品の両面テープは、環境温度が20°C以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- Ⓢ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- Ⓢ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- Ⓢ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- Ⓢ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

品番・適合車種	1
構成部品	2
構成部品図	3
取り付け上のご注意（取り付け業者の方へ）	4
目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、 保証について、取付構成図	5
取付要領	6 ~ 25
取り付け完了後の点検・注意事項	25
未塗装品の取り扱いについて	25 ~ 29
補修キット両面テープ貼り位置	30

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・保護シート・養生テープ・ガムテープ・マスキングテープ・ケガキ針
- ・電動ドリル(φ3、φ5、φ9、φ10)・ヤスリ・スケール・イソプロピルアルコール(IPA)
- ・清潔なウエス

■ 保証について

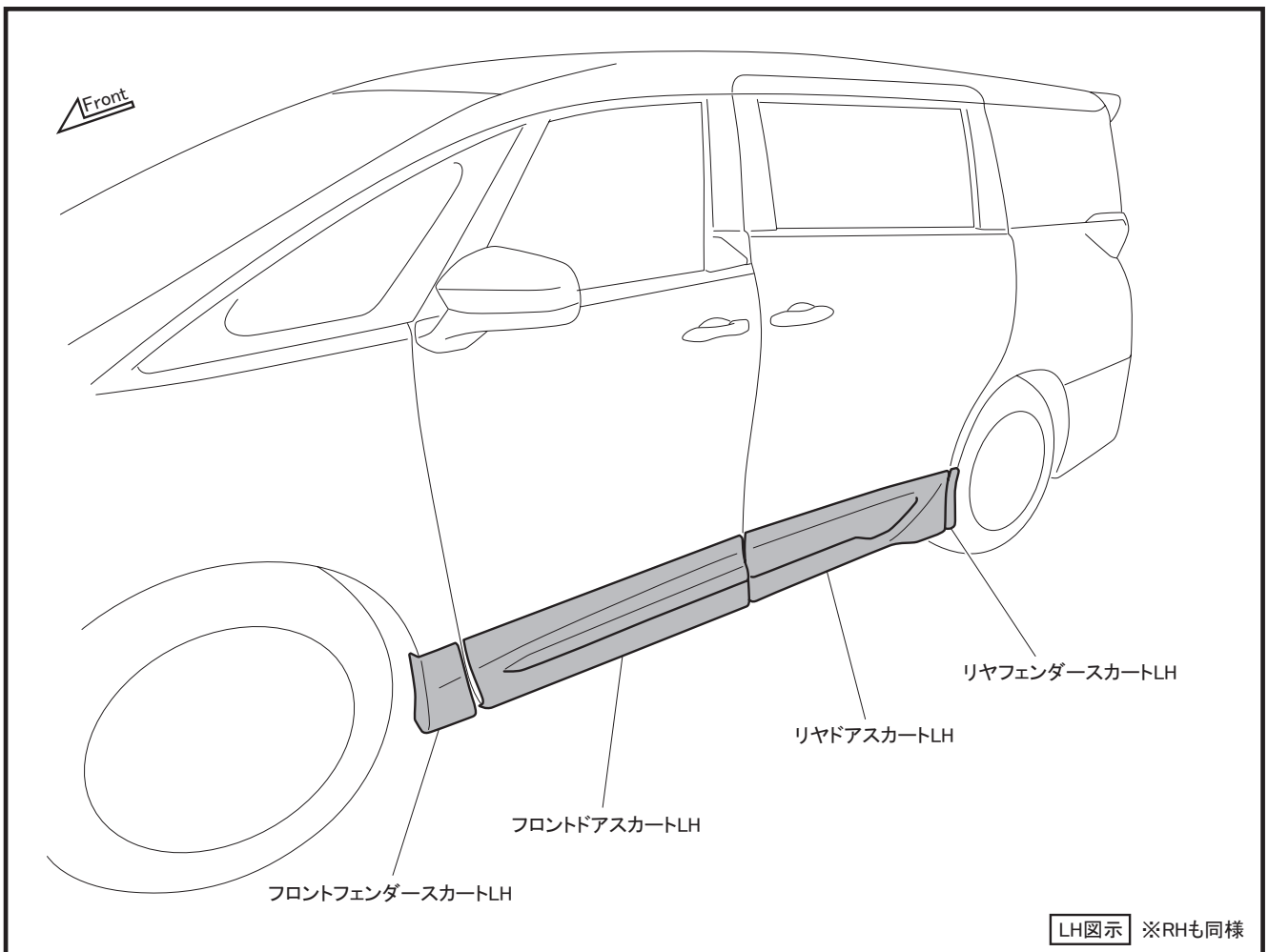
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

(1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



TG-CO-001

■ 取付要領

・ 型紙の貼り付け準備

1. 各型紙を台紙から取り外す。

■フロントドア加工用

FR DOOR ① LH

FR DOOR ② LH

■フロントフェンダー加工用

FR FENDER LH

■リヤドア加工用

RR DOOR ① LH

RR DOOR ② LH

<ステップ無し車用>

RR DOOR ① LH

RR DOOR ② LH

TG-CO-A01

・ 型紙の貼り付け

LH 側フロントドア

型紙 FR DOOR ① LH

Front

マスキングテープ

A-A' 断面

R エンド 型紙

B-B' 断面

R エンド 型紙

型紙 FR DOOR ① LH

合わせ基準
----- : R エンド

TG-CO-A08

LH 側フロントドア

型紙 FR DOOR ② LH

Front

マスキングテープ

A-A' 断面

R エンド 型紙

B-B' 断面

型紙 R エンド

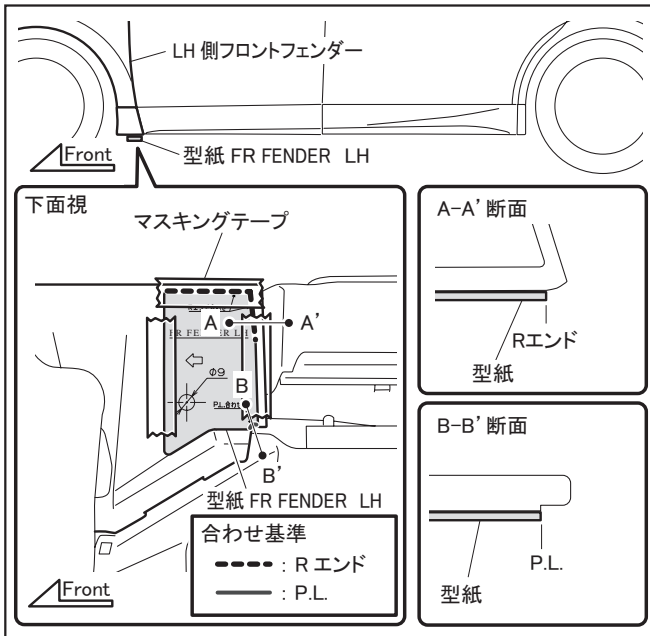
型紙 FR DOOR ② LH

合わせ基準
----- : R エンド

TG-CO-A09

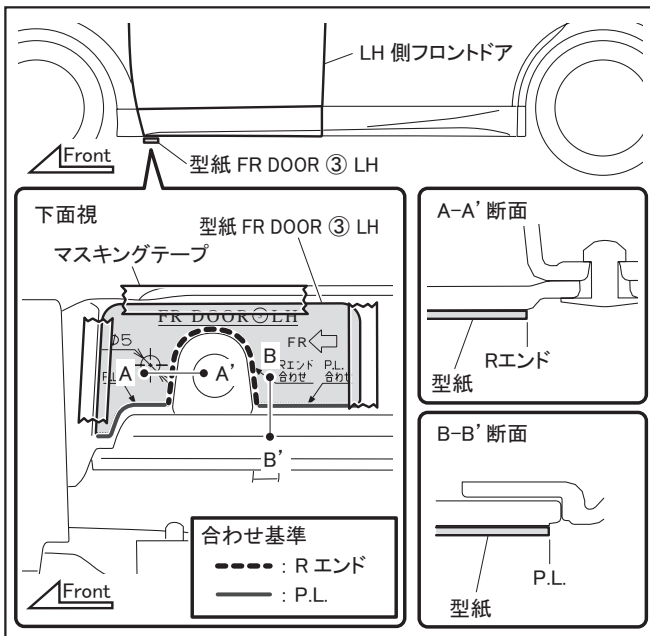
1. 型紙 FR DOOR ① LH を位置決めし、LH 側フロントドア側面にマスキングテープで貼り付ける。

2. 型紙 FR DOOR ② LH を位置決めし、LH 側フロントドア側面にマスキングテープで貼り付ける。



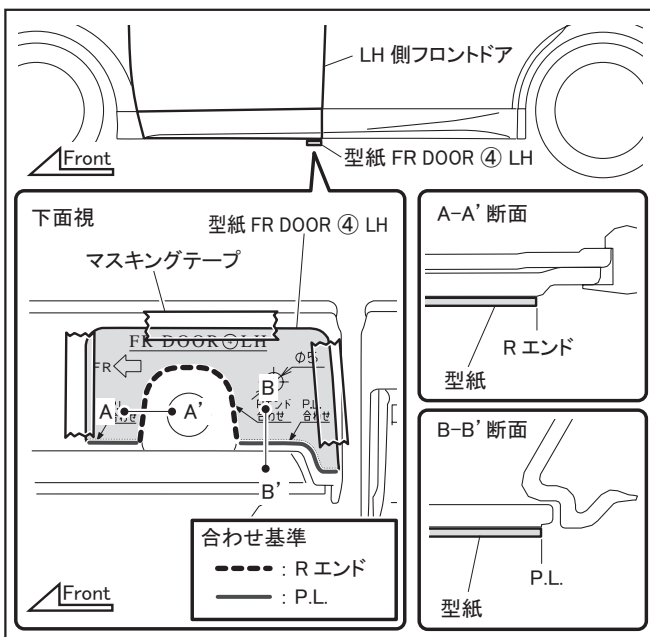
TG-CO-A03

3. 型紙 FR FENDER LHを位置決めし、LH 側フロントフェンダー下側にマスクingtテープで貼り付ける。



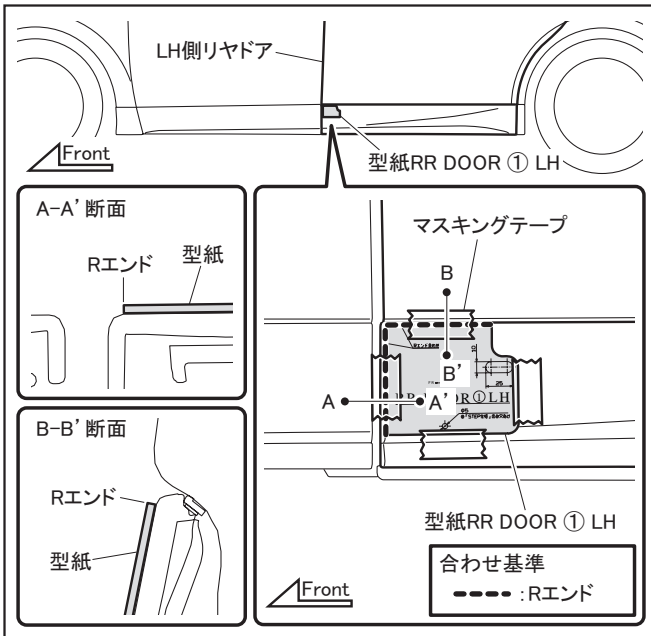
TG-CO-A04

4. 型紙 FR DOOR ③ LHを位置決めし、LH 側フロントドア下側にマスクingtテープで貼り付ける。



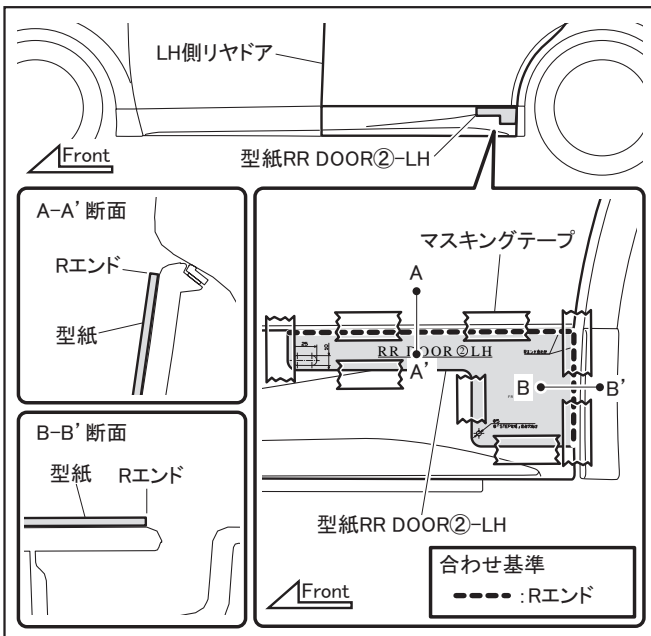
TG-CO-A05

5. 型紙 FR DOOR ④ LHを位置決めし、LH 側フロントドア下側にマスクingtテープで貼り付ける。



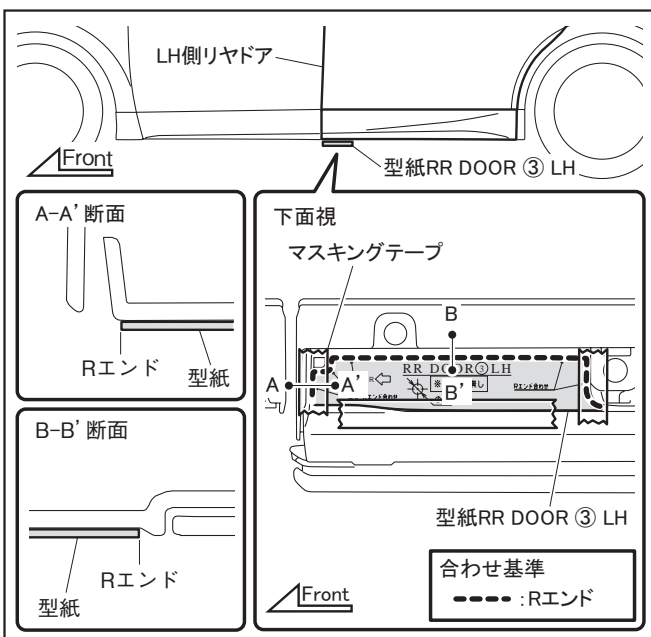
TG-CO-A10

6. 型紙 RR DOOR ① LHを位置決めし、LH 側リヤドア側面にマスキングテープで貼り付ける。



TG-CO-A11

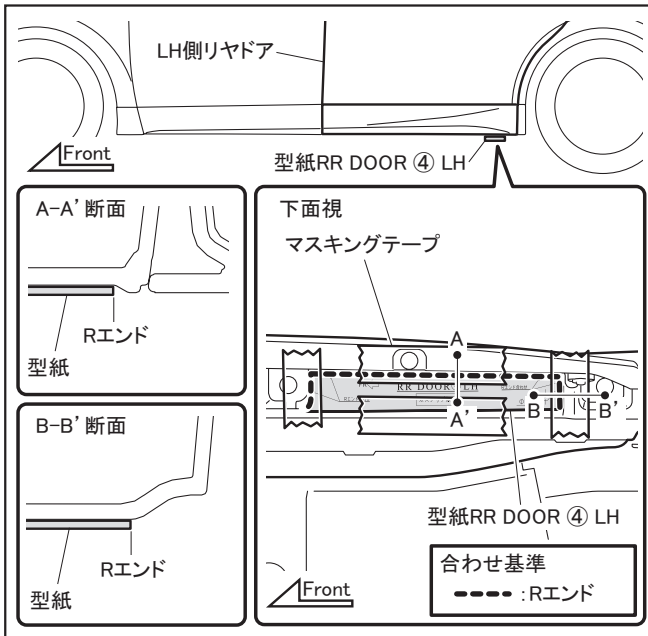
7. 型紙 RR DOOR ② LHを位置決めし、LH 側リヤドア側面にマスキングテープで貼り付ける。



TG-CO-A06

<ステップ無し車の場合のみ>

8. 型紙 RR DOOR ③ LHを位置決めし、LH 側リヤドア下側にマスキングテープで貼り付ける。

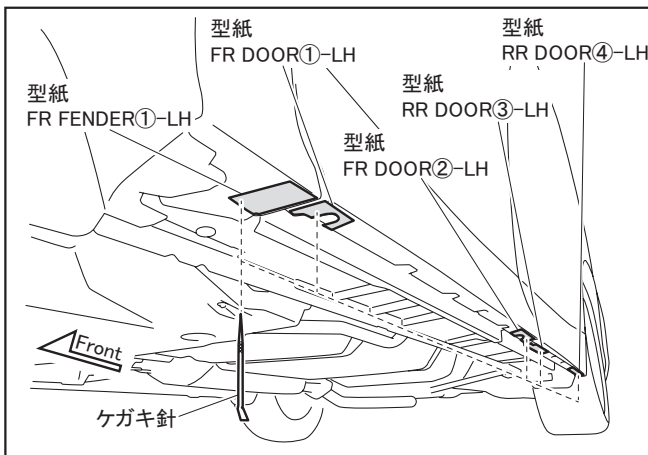


TG-CO-A07

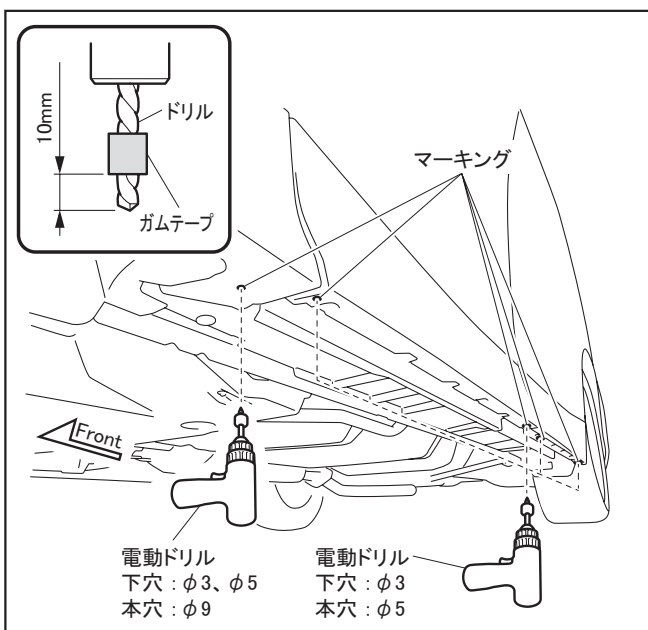
<ステップ無し車の場合のみ>

9. 型紙 RR DOOR ④ LH を位置決めし、LH 側リヤドア下側にマスキングテープで貼り付ける。

・車両部品の加工



TG-CO-B01



TG-CO-B02

1. フェンダー及び各ドア下側に貼り付けた型紙の穴開け位置中心 (5箇所) をケガキ針でマーキングする。
2. フェンダー及び各ドア下側に貼り付けた型紙 (5箇所) を取り外す。

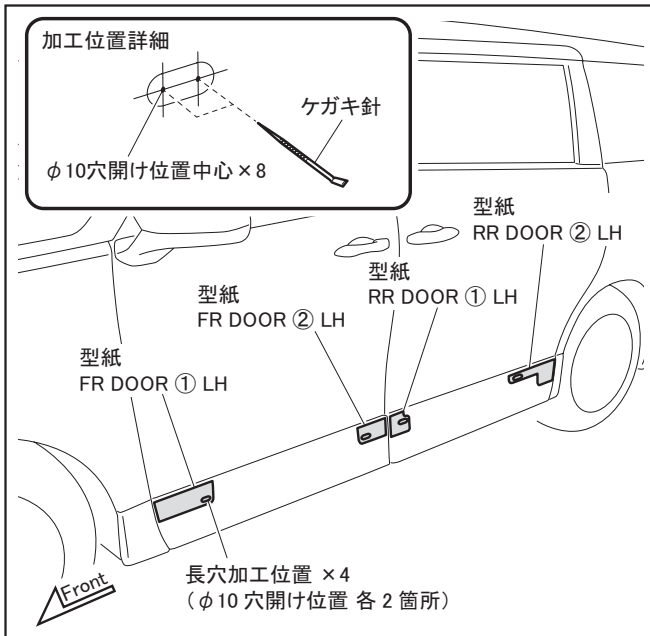
3. 図に従い、ドリル (φ3、φ5、φ9) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
4. フェンダー及び各ドア下側のマーキング位置 (5箇所) に電動ドリルで下穴φ3を開ける。
5. 各ドア下側の下穴 (4箇所) に本穴φ5を開ける。
6. フェンダー下側の下穴 (1箇所) に下穴φ5及び本穴φ9を開ける。
7. 加工穴周囲のバリを取り除く。

⚠ 注意

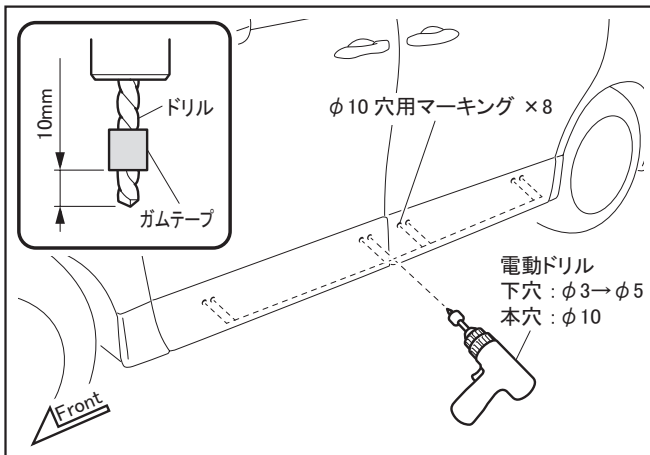
1. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
2. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
3. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。
4. フェンダー下側と各ドア下側で本穴のサイズが異なるので注意してください。

＜ステップ無し車の場合＞

8. 各ドア側面に貼り付けた型紙の穴開け位置中心（8箇所）を、ケガキ針でマーキングする
9. 各ドア側面に貼り付けた型紙（4箇所）を取り外す。

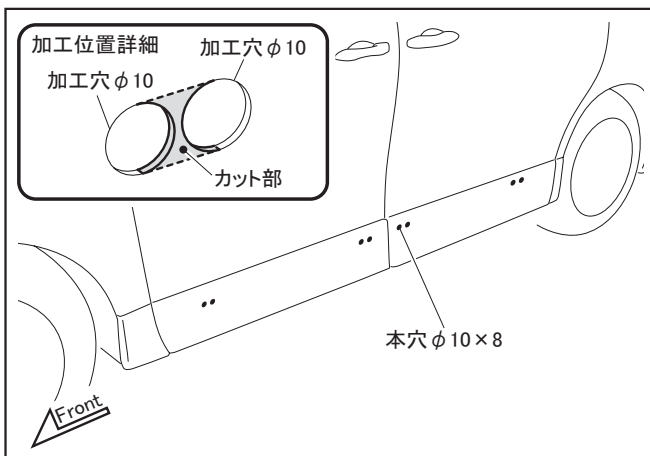


TG-CO-B03



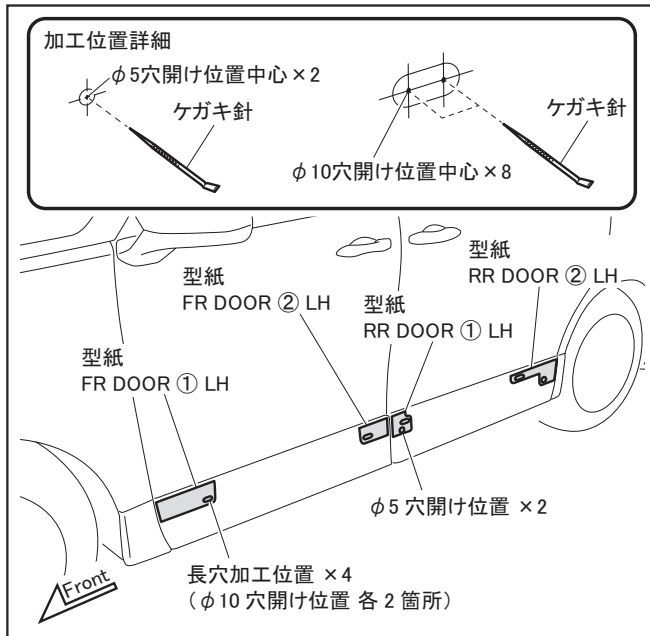
TG-CO-B03

10. 図に従い、ドリル（φ3、φ5、φ10）にストッパ（ガムテープ）をセットする。
11. 各ドア側面のマーキング位置（8箇所）に電動ドリルで下穴φ3→φ5を開ける。
12. 下穴（8箇所）に本穴φ10を開ける。

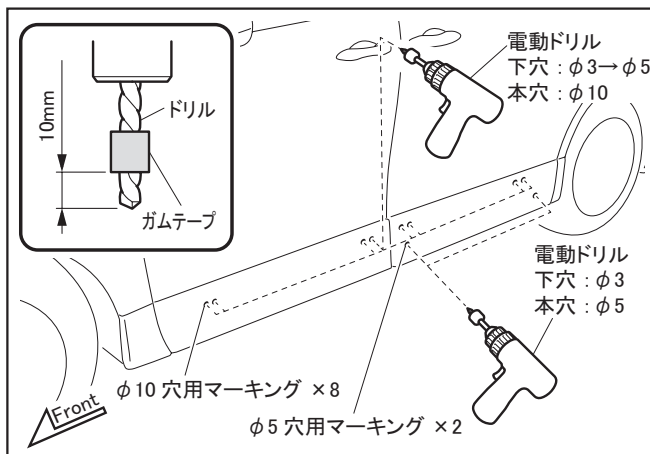


TG-CO-B05

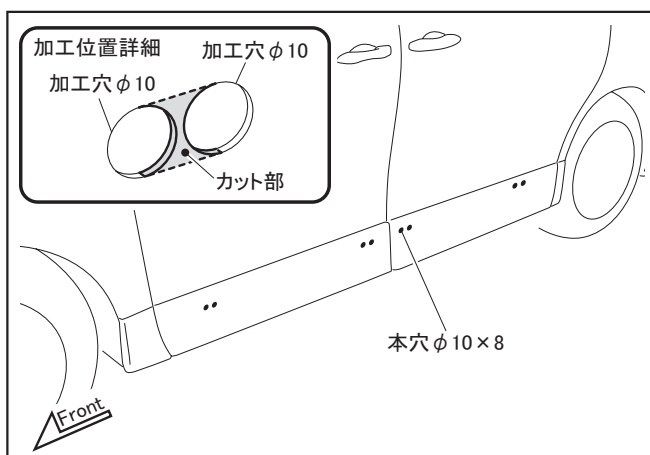
13. 本穴φ10（各2箇所）の間を切り取り、長穴（4箇所）に加工する。



TG-CO-B06



TG-CO-B07



TG-CO-B05

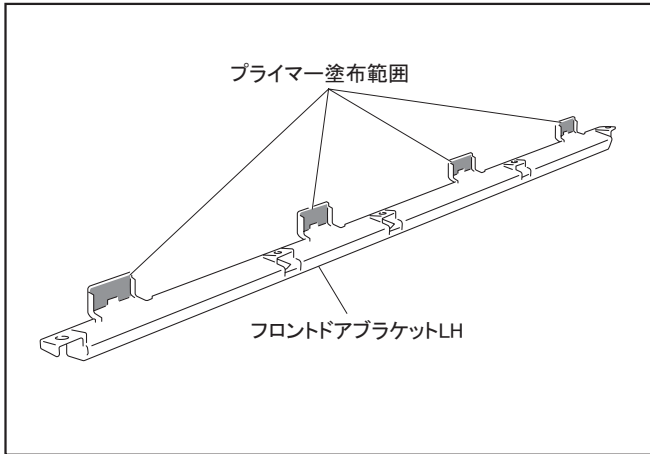
<ステップ付き車の場合>

8. 各ドア側面に貼り付けた型紙の穴開け位置中心 (10箇所) を、ケガキ針でマーキングする
9. 各ドア側面に貼り付けた型紙 (4箇所) を取り外す。

10. 図に従い、ドリル (φ3、φ5、φ10) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
11. 各ドア側面のマーキング位置 (10箇所) に電動ドリルでφ3→φ5を開ける。
12. φ5で開けた穴のうち、φ10穴用マーキング (8箇所) に本穴φ10を開ける。

13. 本穴φ10 (各2箇所) の間を切り取り、長穴 (4箇所) に加工する。

・ スペーサー取付要領<車両側スカートにメッキモールが無い場合のみ>

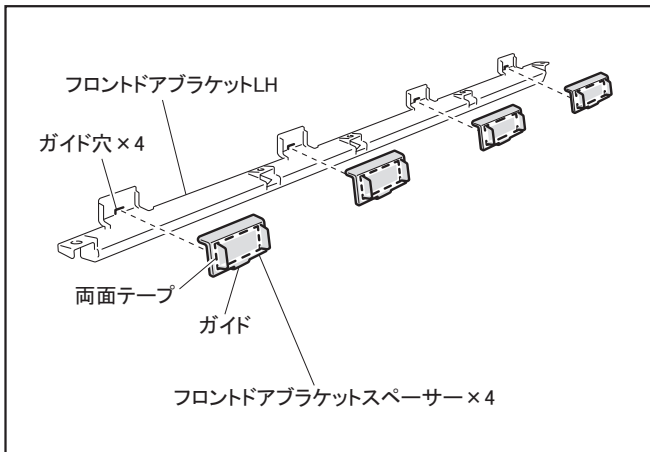


TG-CO-K01

1. フロントドアブラケット LH のプライマー塗布範囲 (4箇所) をイソプロピルアルコール (IPA) で脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

⚠ 注意

1. イソプロピルアルコール (IPA) を使用する際は、火気に充分注意してください。
2. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
3. プライマーは、マスキングテープで囲った内側からはみ出さない範囲で塗布してください。

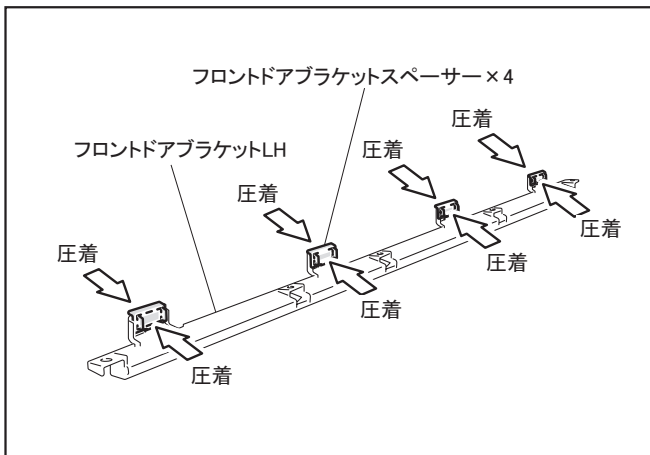


TG-CO-K02

2. 両面テープの離型紙を剥がし、フロントドアブラケットスペーサー (4個) をフロントドアブラケット LH に貼り付ける。

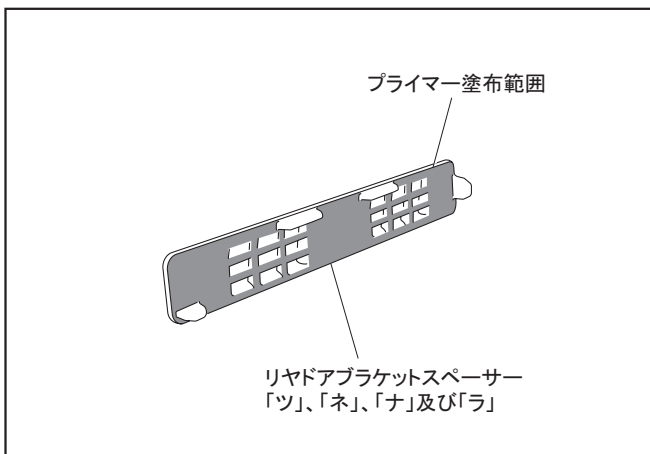
👉 アドバイス

フロントドアブラケットスペーサーのガイドをフロントドアブラケット LH のガイド穴に合わせて貼り付けてください。



TG-CO-K03

3. フロントドアブラケットスペーサー (4個) の両面テープ部 (各1箇所) を49N (5kgf) 以上で圧着する。



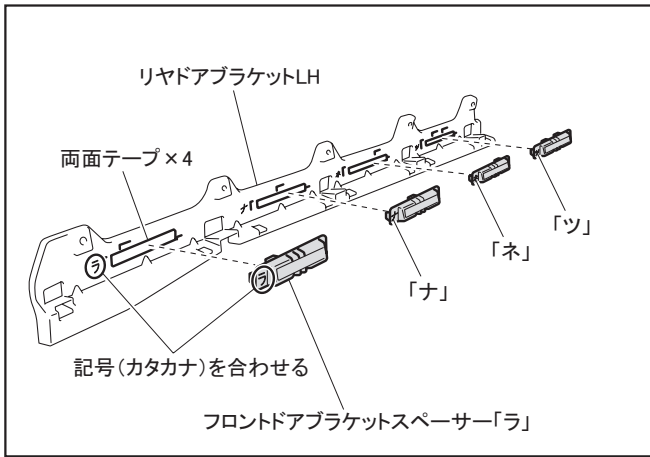
TG-CO-K04

<ステップ付き車の場合のみ>

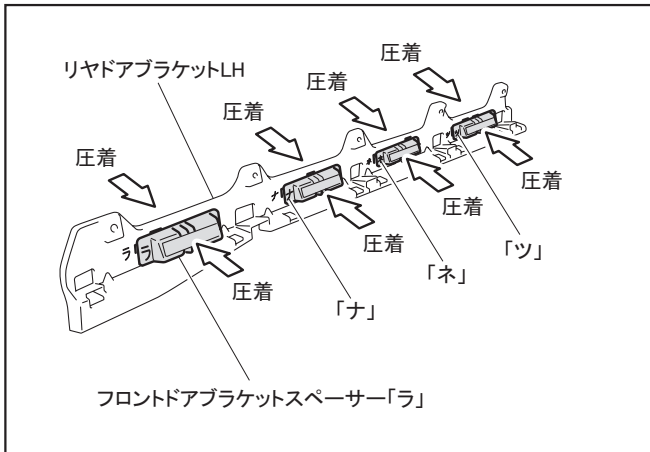
4. リヤドアブラケットスペーサー「ツ」、「ネ」、「ナ」及び「ラ」のプライマー塗布範囲 (各1箇所) をイソプロピルアルコール (IPA) で脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

⚠ 注意

1. イソプロピルアルコール (IPA) を使用する際は、火気に充分注意してください。
2. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
3. プライマーは、マスキングテープで囲った内側からはみ出さない範囲で塗布してください。



TG-CO-K05



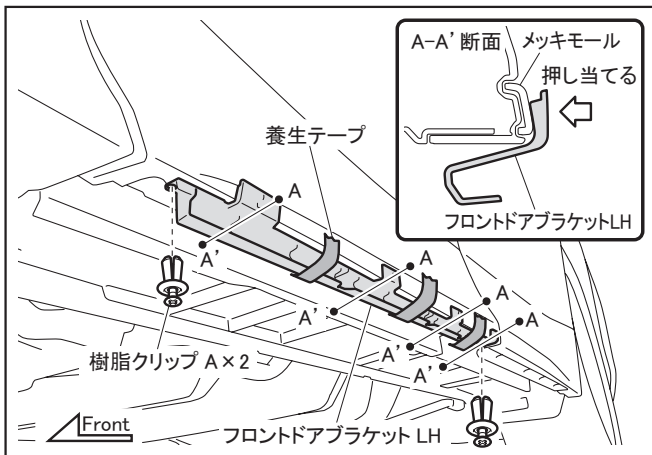
TG-CO-K06

5. リヤドアブラケット LH の両面テープの離型紙を剥がし、リヤドアブラケットスペーサー「ツ」、「ネ」、「ナ」及び「ラ」を貼り付ける。

👉アドバイス

1. リヤドアブラケットスペーサー「ツ」、「ネ」、「ナ」及び「ラ」は、それぞれの形状が異なる為、必ずリヤドアブラケット LH のケガキ印「ツ」、「ネ」、「ナ」及び「ラ」と位置を合わせて貼り付けてください。
 2. リヤドアブラケットスペーサーのガイドをリヤドアブラケット LH のガイド穴に合わせて貼り付けてください。
6. リヤドアブラケットスペーサー「ツ」、「ネ」、「ナ」及び「ラ」の両面テープ部（各1箇所）を49N（5kgf）以上で圧着する。

・ブラケット取付要領

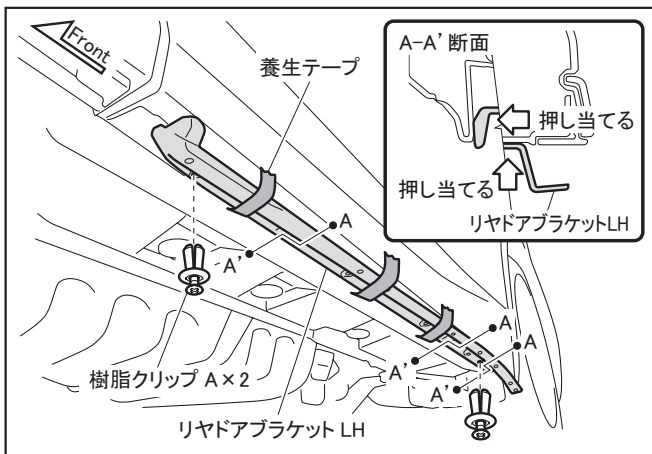


TG-CO-C01

1. フロントドアブラケット LH を位置決めし、樹脂クリップ A (2 個) 及び養生テープで固定する。

👉 アドバイス

左図は車両側スカートにメッキモールがある場合を示しますが、メッキモールが無い場合も同様に作業してください。



TG-CO-C02

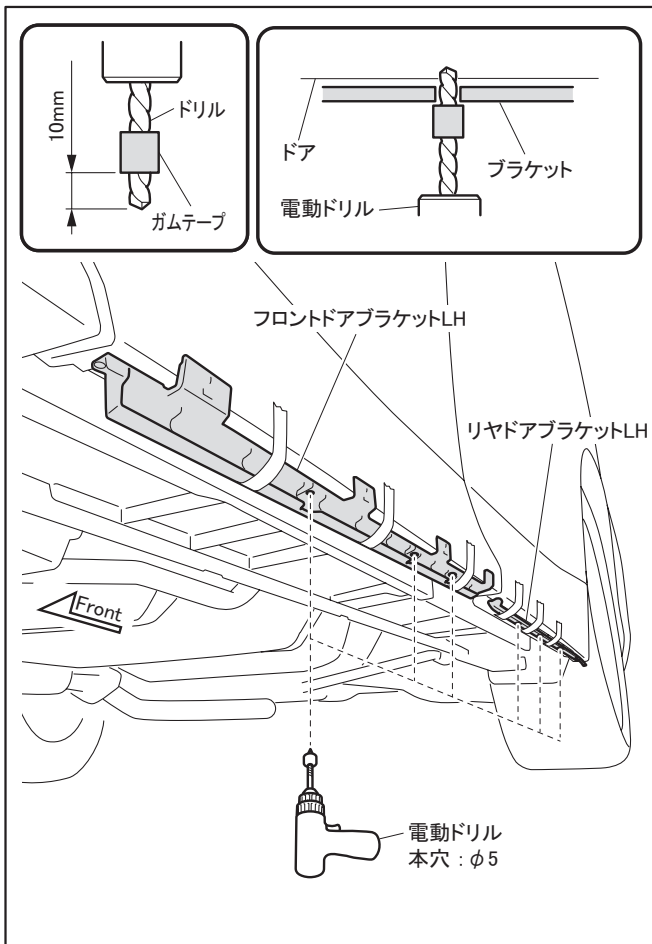
<ステップ無し車の場合>

2. リヤドアブラケット LH を位置決めし、樹脂クリップ A (2 個) 及び養生テープで固定する。

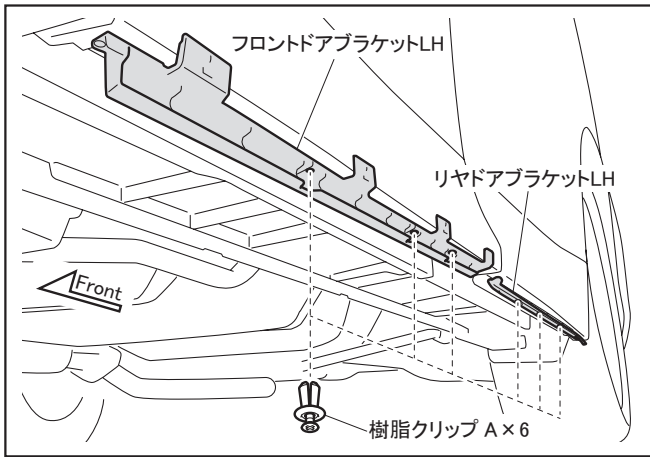
3. フロントドアブラケット LH 及びリヤドアブラケット LH のガイド穴 (6 箇所) にドリル (φ 5) を挿入し、本穴を開ける。

⚠ 注意

1. フロントドアブラケット LH 及びリヤドアブラケット LH が動かないように、手で押さえ付けながら作業してください。
2. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
3. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
4. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。



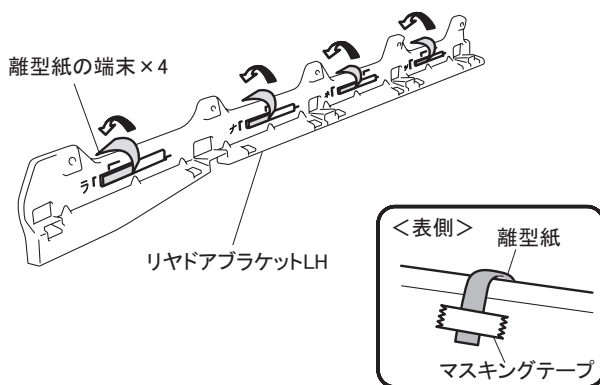
TG-CO-C03



TG-CO-C04

4. 樹脂クリップ A (3 個) でフロントドアブラケット LH を固定する。
5. 樹脂クリップ A (3 個) でリヤドアブラケット LH を固定する。
6. 養生テープを全て剥がす

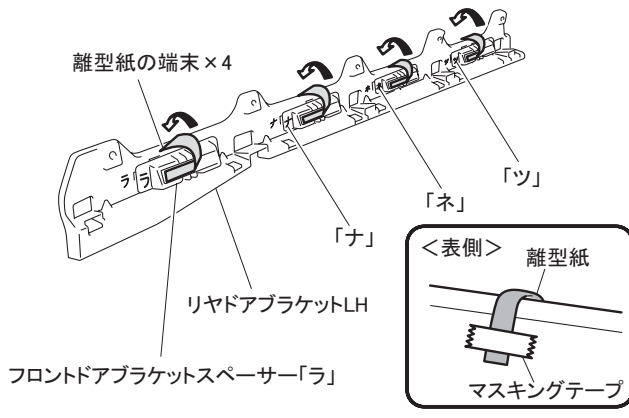
<車両側スカートにメッキモールがある場合>



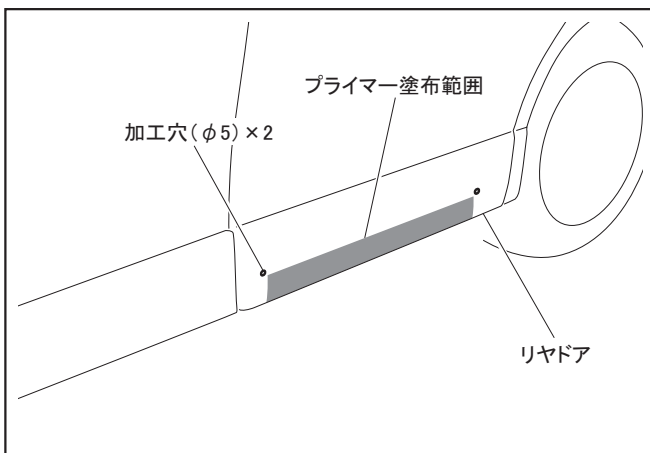
<ステップ付き車の場合>

2. リヤドアブラケット LH もしくはリヤドアブラケット スペース「ツ」、「ネ」、「ナ」及び「ラ」の離型紙の端末 (4 箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。

<車両側スカートにメッキモールが無い場合>



TG-CO-C08

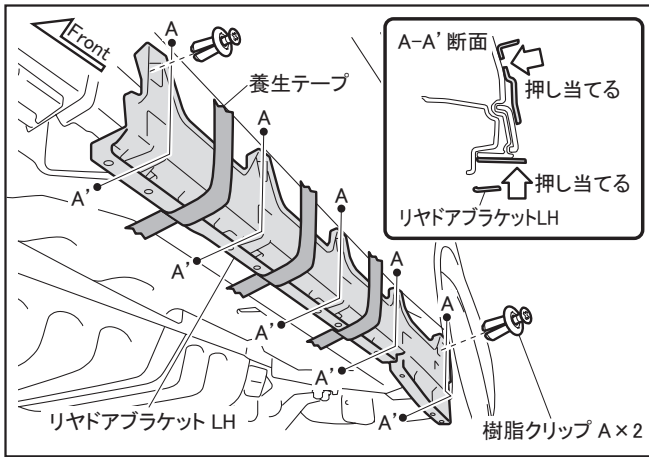


TG-CO-K09

3. イソプロピルアルコール (IPA) を使用してプライマー塗布範囲 (リヤドア側面の φ 5 加工穴が基準) を脱脂し、PAC プライマー N-200 を塗布する。

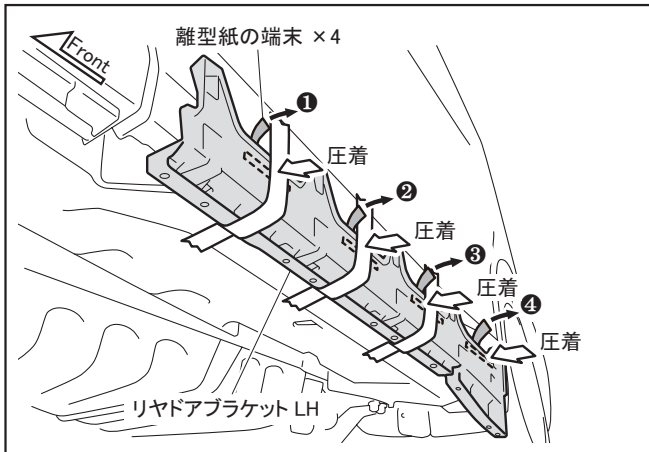
⚠ 注意

1. イソプロピルアルコール (IPA) を使用する際は、火気に充分注意してください。
2. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
3. プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。
付着してしまいますと変色することがあります。



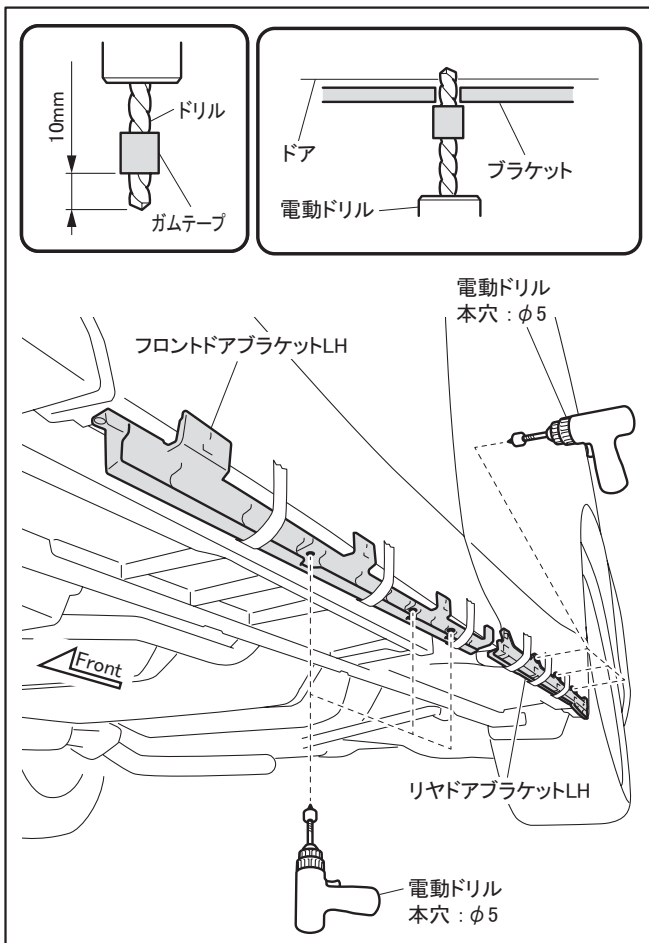
TG-CO-C05

4. リヤドアブラケット LH を位置決めし、樹脂クリップ A (2 個) 及び養生テープで固定する。



TG-CO-C10

5. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (4 箇所) を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部 (4 箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

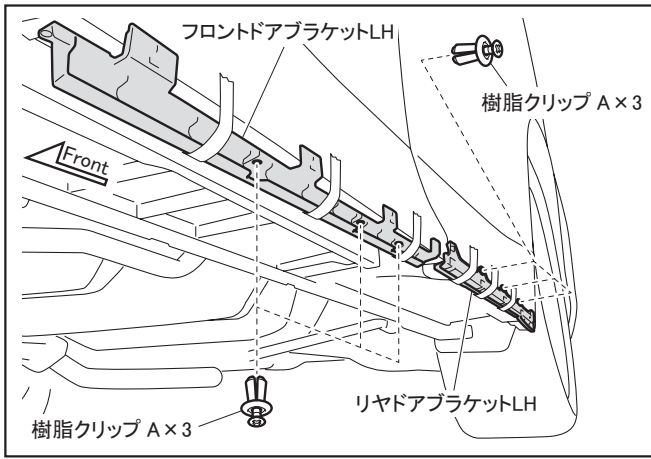


TG-CO-C06

6. フロントドアブラケット LH 及びリヤドアブラケット LH のガイド穴 (6 箇所) にドリル (φ 5) を挿入し、本穴を開ける。

⚠ 注意

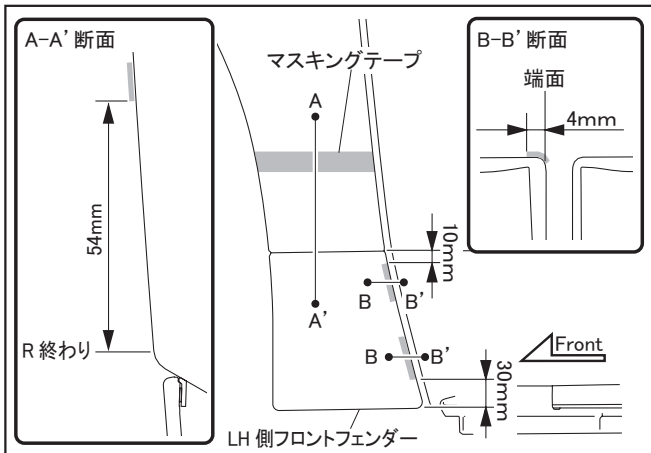
1. フロントドアブラケット LH 及びリヤドアブラケット LH が動かないように、手で押さえ付けながら作業してください。
2. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
3. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
4. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。



TG-CO-C04

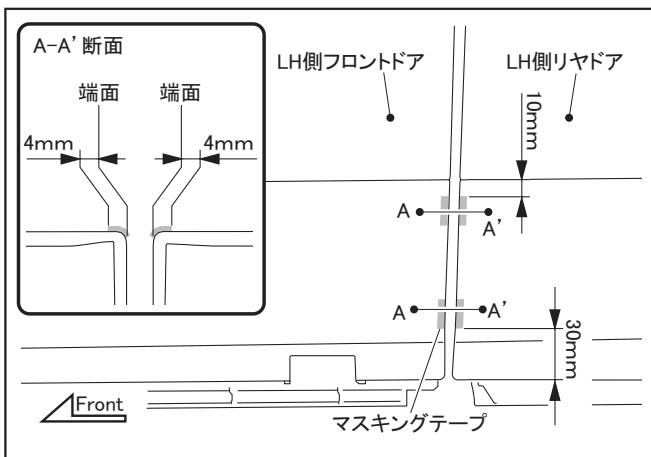
7. 樹脂クリップ (3 個) でフロントドアブラケット LH を固定する。
8. 樹脂クリップ (3 個) でリヤドアブラケット LH を固定する。
9. 養生テープを全て剥がす

・ マーキング作業



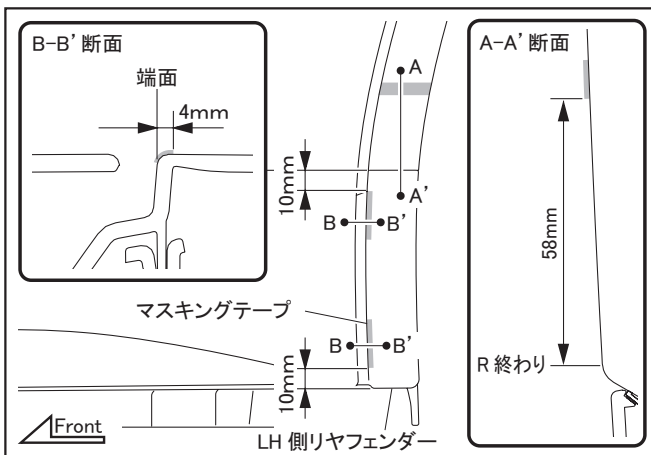
TG-CO-D01

1. 図の寸法に従い、LH 側フロントフェンダーをマスキングテープでマーキングする。



TG-CO-D02

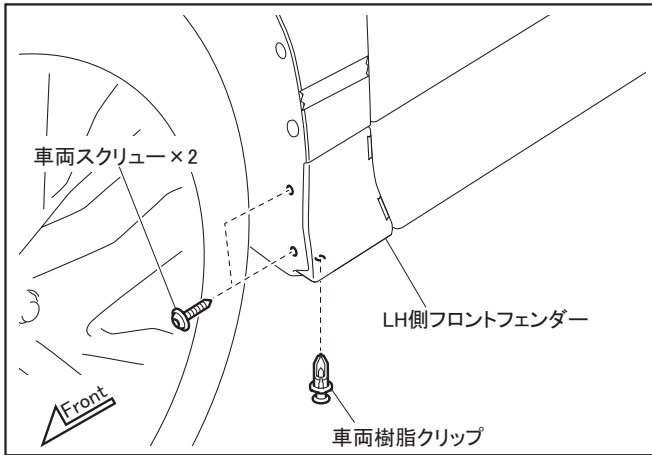
2. 図の寸法に従い、LH 側フロントドア及び LH 側リヤドアをマスキングテープでマーキングする。



TG-CO-D03

3. 図の寸法に従い、LH 側リヤフェンダーをマスキングテープでマーキングする。

・ マスキング作業

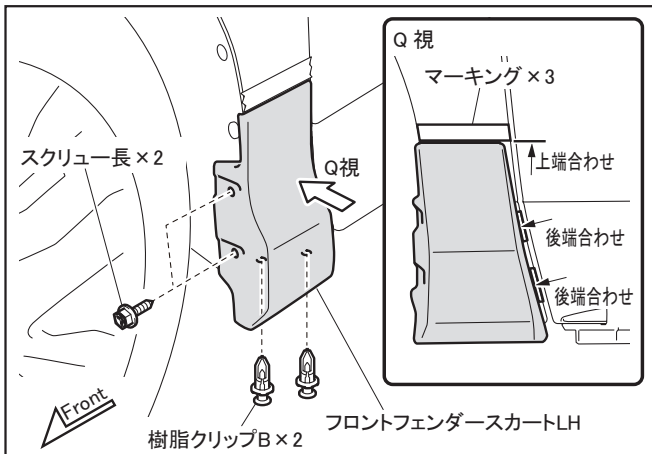


TG-CO-E01

1. フロントフェンダー LH の車両樹脂クリップ (1 個) 及び車両スクリュー (2 本) を外す。

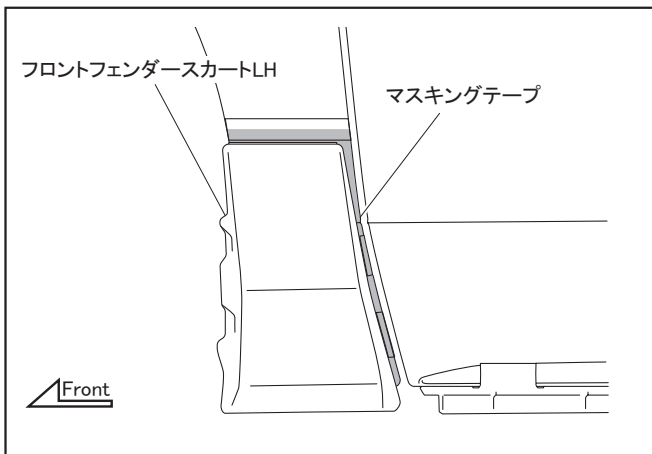
👉 アドバイス

取り外した車両樹脂クリップ (1 個) 及び車両スクリュー (2 本) は再使用しません。



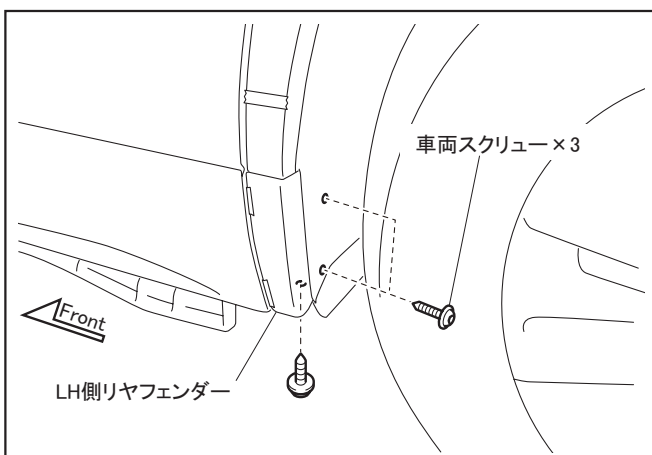
TG-CO-E02

2. フロントフェンダースカート LH の外周を、マーキング (3 箇所) に合わせ、樹脂クリップ B 及びスクリュー長 (2 本) で仮固定する。



TG-CO-E03

3. フロントフェンダースカート LH の端末 (モール貼り付け部はモール上端) に沿って、マスキングテープを貼り付ける。
4. フロントフェンダースカート LH を取り外す。

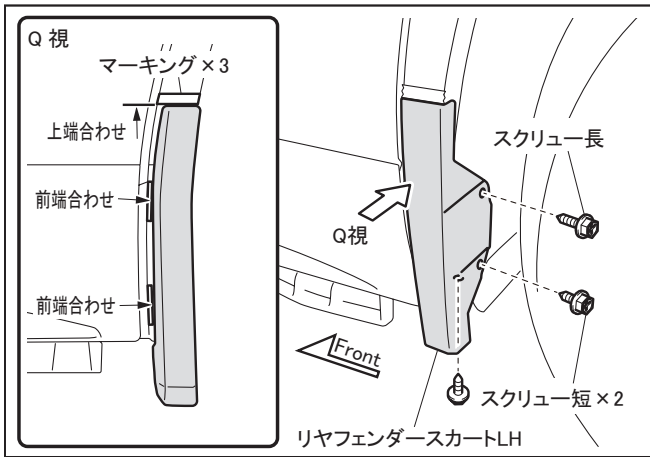


TG-CO-E04

5. LH 側リヤフェンダーの車両スクリュー (3 本) を外す。

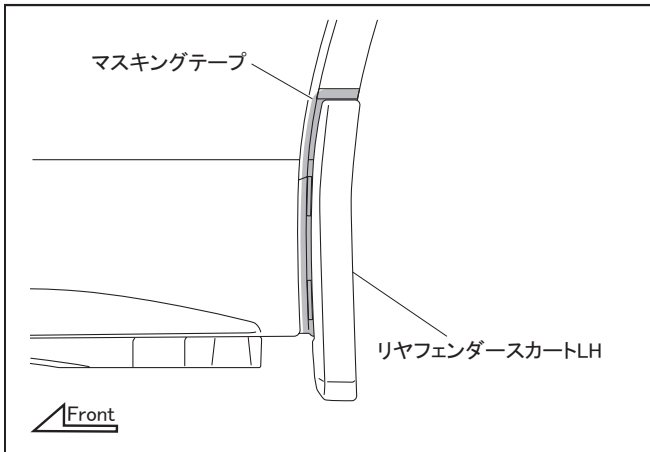
👉 アドバイス

取り外した車両スクリュー (3 本) は再使用しません。



TG-CO-E05

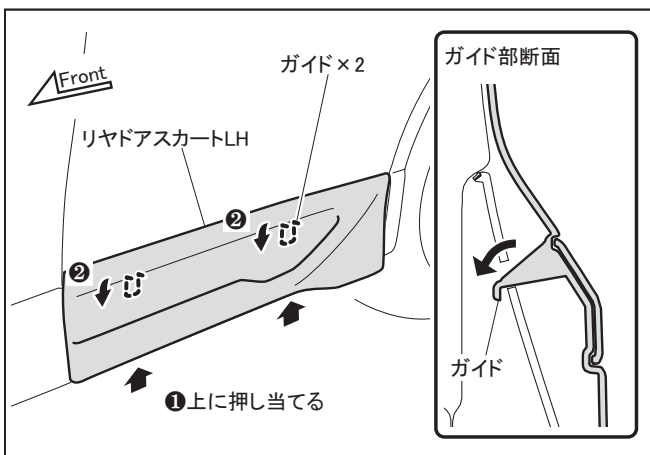
6. リヤフェンダースカート LH の外周を、マーキング (3 箇所) に合わせ、スクリー長 (1 本) 及びスクリー短 (2 本) で仮固定する。



TG-CO-E06

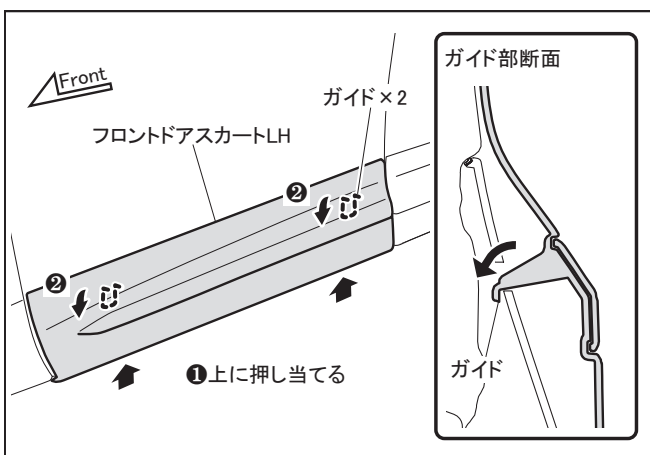
7. リヤフェンダースカート LH の端末 (モール貼り付け部はモール上端) に沿って、マスキングテープを貼り付ける

8. リヤフェンダースカート LH を取り外す。



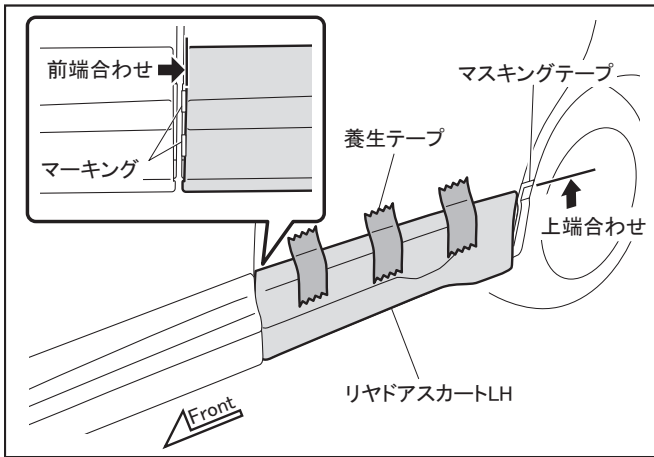
TG-CO-F01

9. ①、②の順番でガイド (2 箇所) を加工穴に挿入し、リヤドアスカート LH を仮付けする。



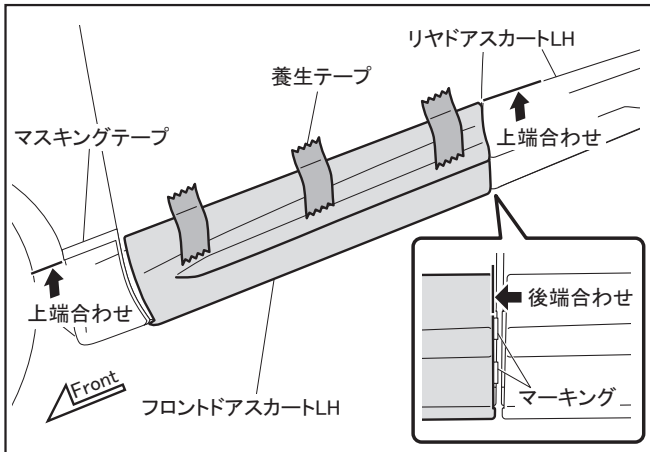
TG-CO-F07

10. ①、②の順番でガイド (2 箇所) を加工穴に挿入し、フロントドアスカート LH を仮付けする。



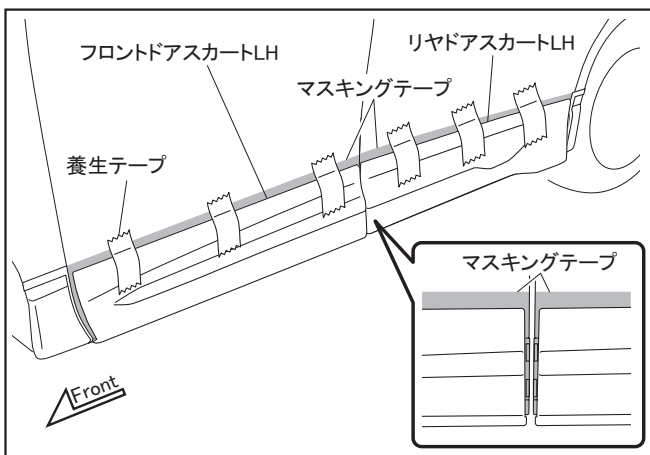
TG-CO-F02

11. リヤドアスカート LH を位置決めし、養生テープで固定する。



TG-CO-F03

12. フロントドアスカート LH を位置決めし、養生テープで固定する。

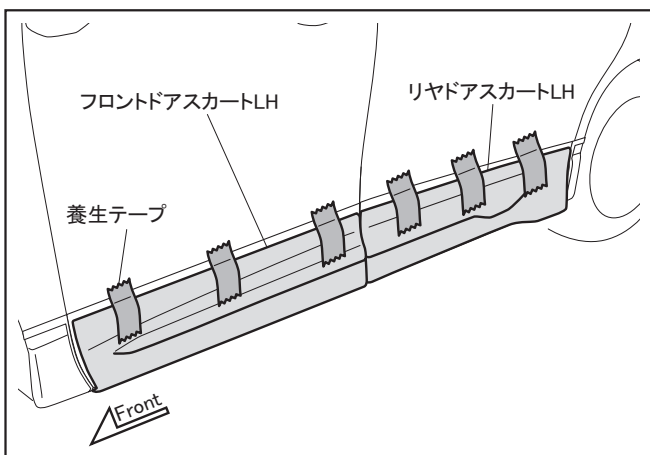


TG-CO-F04

13. フロントドアスカート LH 及びリヤドアスカート LH の端末（モール貼り付け部はモール上端）に沿って、マスキングテープでマーキングする。

⚠ 注意

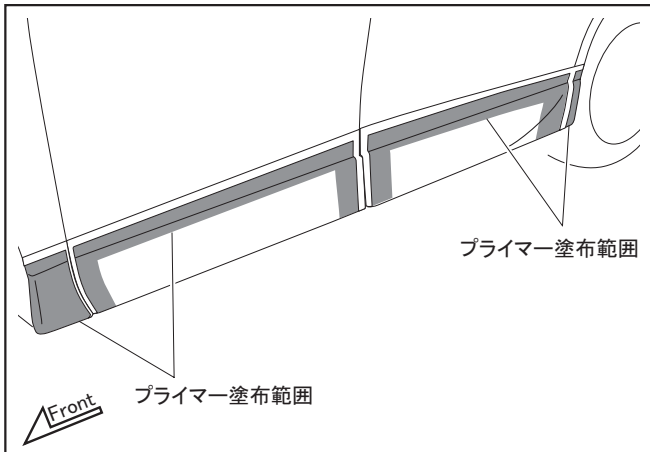
マスキングテープを貼る際は養生テープを剥がしながらフロントドアスカート LH 及びリヤドアスカート LH の位置がずれないように貼り付けてください。



TG-CO-F05

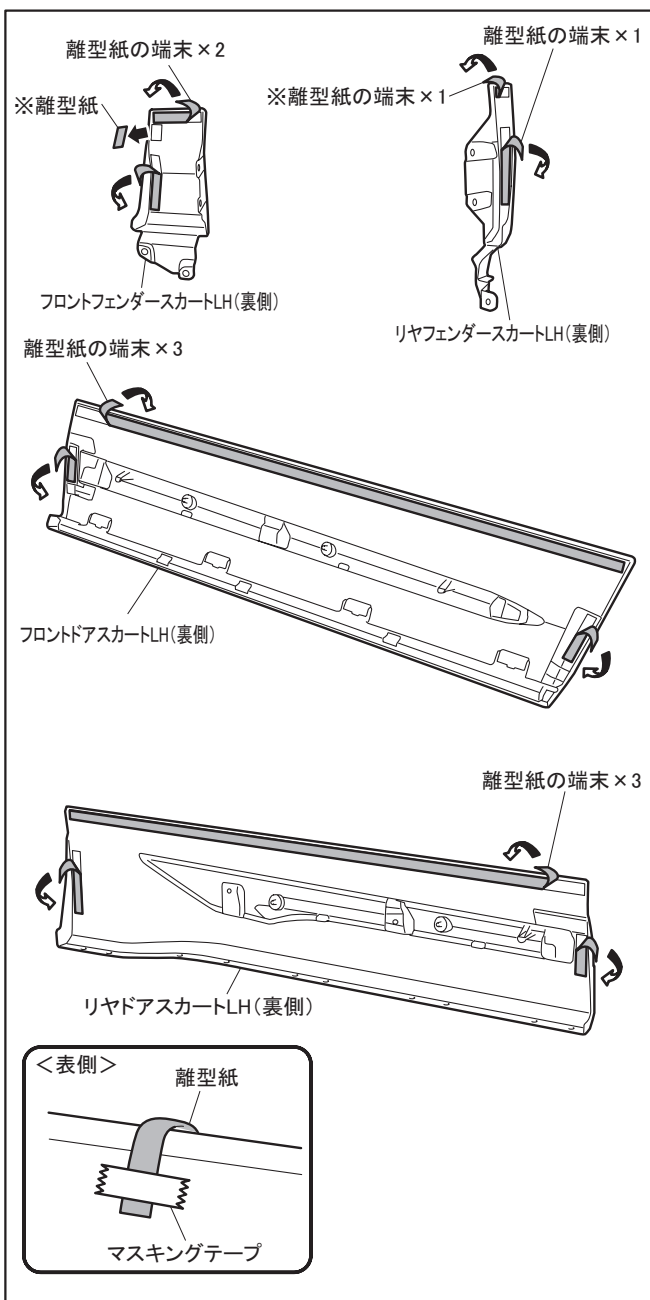
14. 養生テープを剥がし、フロントドアスカート LH 及びリヤドアスカート LH を取り外す。

・ プライマー塗布



TG-CO-G01

・ サイドスカート取付前準備



TG-CO-I01d

1. イソプロピルアルコール (IPA) を使用してプライマー塗布範囲 (マスキングテープで囲った内側) を一方向に拭いて脱脂し、PAC プライマー N-200 を塗布する。

⚠ 注意

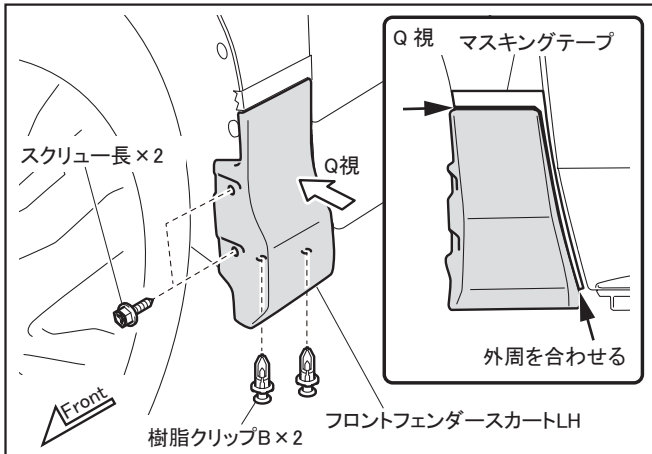
1. イソプロピルアルコール (IPA) を使用する際は、火気に充分注意してください。
2. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
3. プライマーは、マスキングテープで囲った内側からはみ出さない範囲で塗布してください。
4. プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。

1. フロントフェンダースカート LH の※で示す離型紙を剥がす。
(図中 ➡ 部)
2. フロントフェンダースカート LH の離型紙の末端 (2箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
(図中 ↷ 部)
3. リヤフェンダースカート LH の※で示す離型紙の末端 (1箇所) を 15mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
(図中 ↷ 部)
4. リヤフェンダースカート LH の離型紙の末端 (1箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
(図中 ↷ 部)
5. フロントドアスカート LH の離型紙の末端 (3箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
(図中 ↷ 部)
6. リヤドアスカート LH の離型紙の末端 (3箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
(図中 ↷ 部)

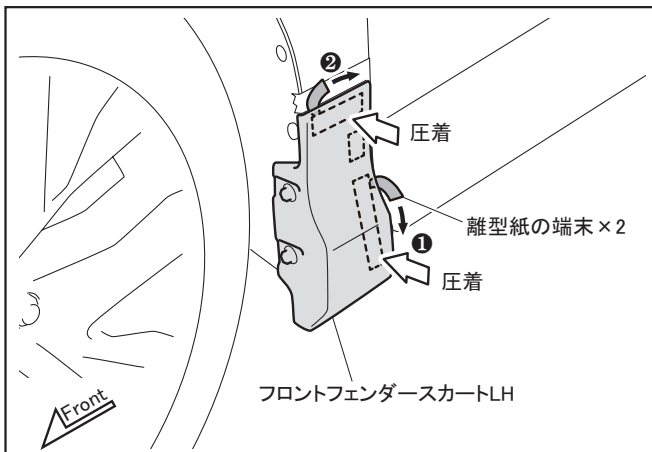
⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

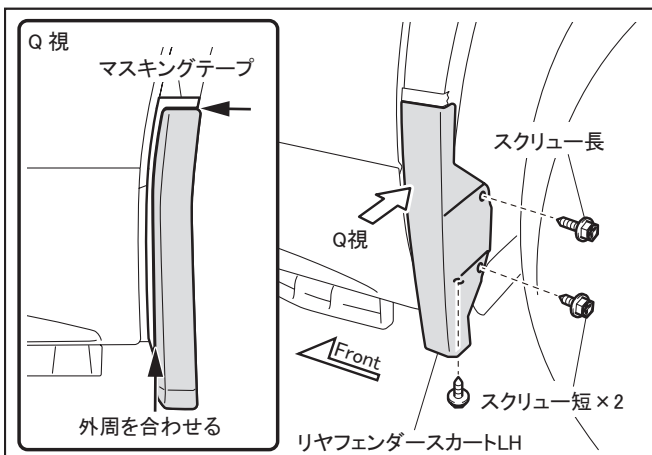
・ サイドスカート取付要領



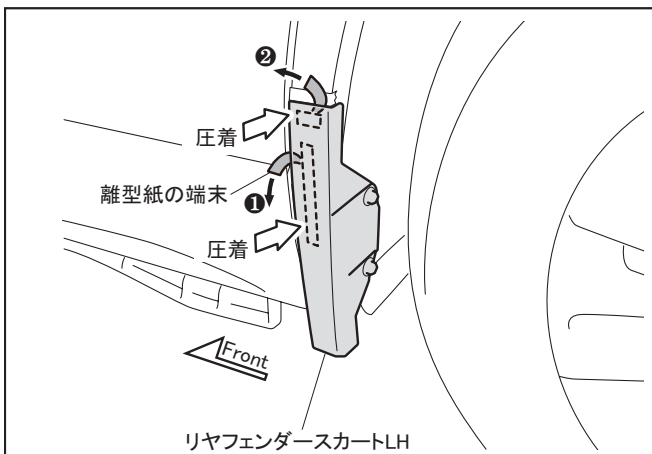
TG-CO-H01



TG-CO-H02



TG-CO-H03



TG-CO-H04

1. フロントフェンダースカート LH を位置決めし、樹脂クリップ B (2 個) 及びスクリーク長 (2 本) で仮固定する。

2. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (2 箇所) を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部 (3 箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

⚠ 注意

1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2 ~ 3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。

3. スクリーク長 (2 本) を本締めし、フロントフェンダースカート LH を固定する。

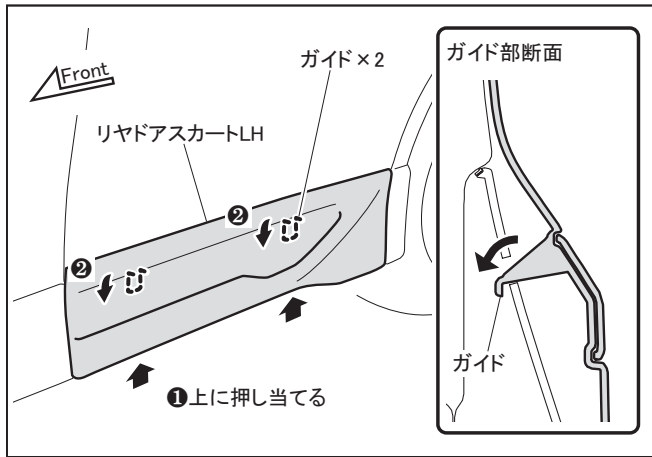
4. リヤフェンダースカート LH を位置決めし、スクリーク長 (1 本) 及びスクリーク短 (2 本) で仮固定する。

5. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末 (2 箇所) を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部 (2 箇所) を 49N (5kgf) 以上で圧着する。

⚠ 注意

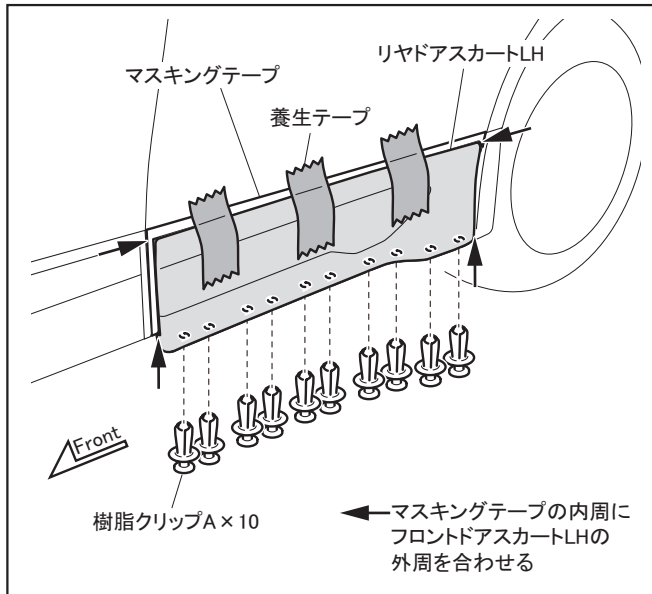
1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2 ~ 3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。

6. スクリーク長 (1 本) 及びスクリーク短 (2 本) を本締めし、リアフェンダースカート LH を固定する。



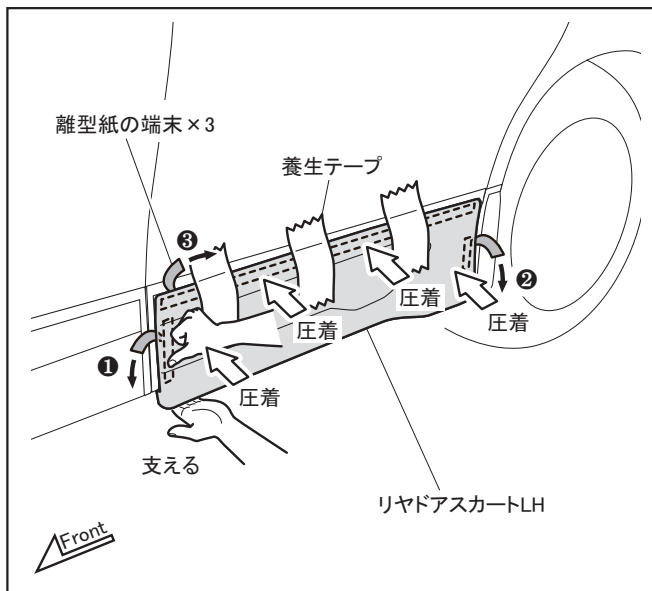
TG-CO-H19

7. ①、②の順番でガイド(2箇所)を加工穴に挿入し、リヤドアスカートLHを仮付けする。



TG-CO-H17

8. リヤドアスカートLHを位置決めし、養生テープ及び樹脂クリップA(10個)で固定する

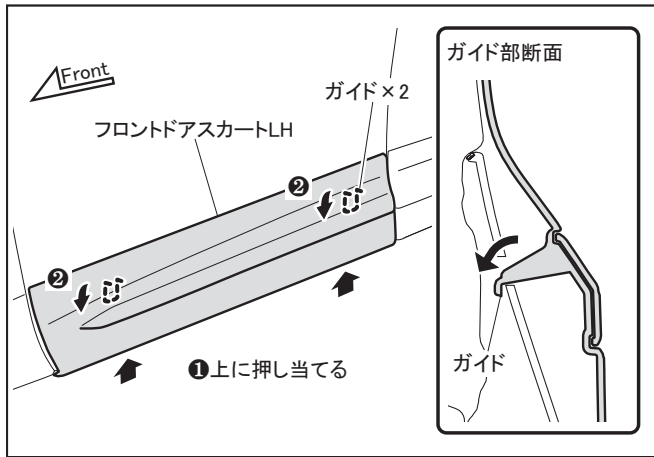


TG-CO-H18d

9. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末(3箇所)を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部(3箇所)を49N(5kgf)以上で圧着する。

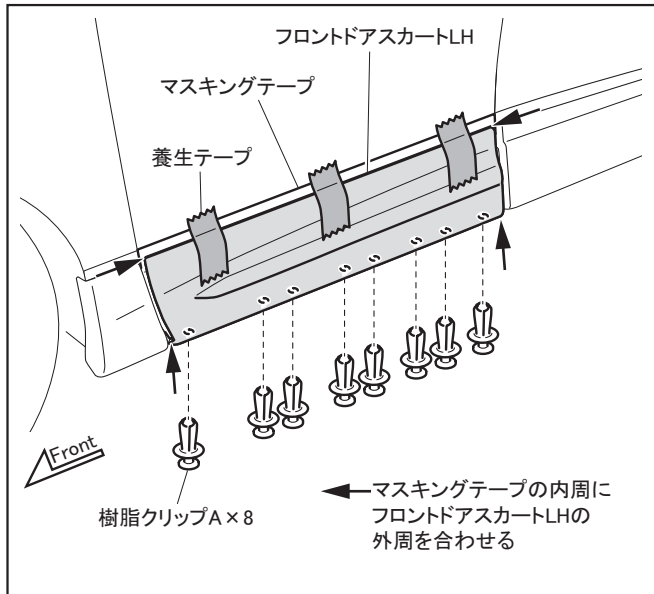
⚠ 注意

1. ドアの裏側に手を添えて、相手部品を支えながら圧着してください。
2. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
3. より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後24時間以内は洗車しないでください。



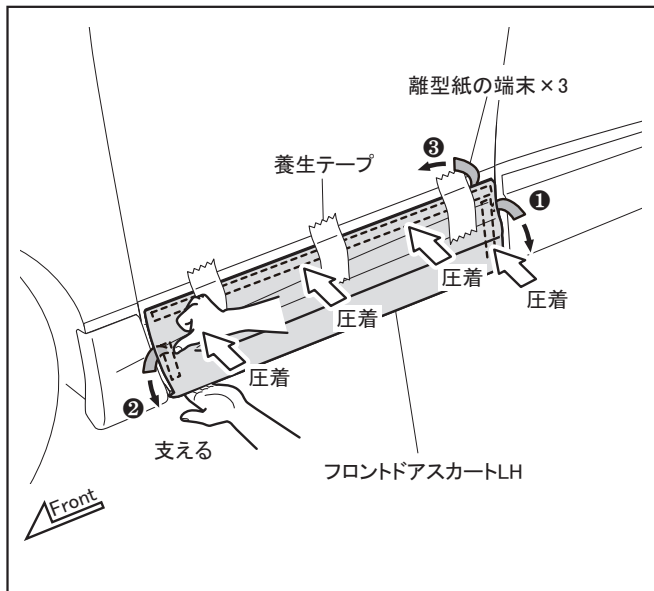
TG-CO-F07

10. ①、②の順番でガイド（2箇所）を加工穴に挿入し、フロントドアスカート LH を仮付けする。



TG-CO-H15

11. フロントドアスカート LH を位置決めし、養生テープ及び樹脂クリップ A（8 個）で固定する。

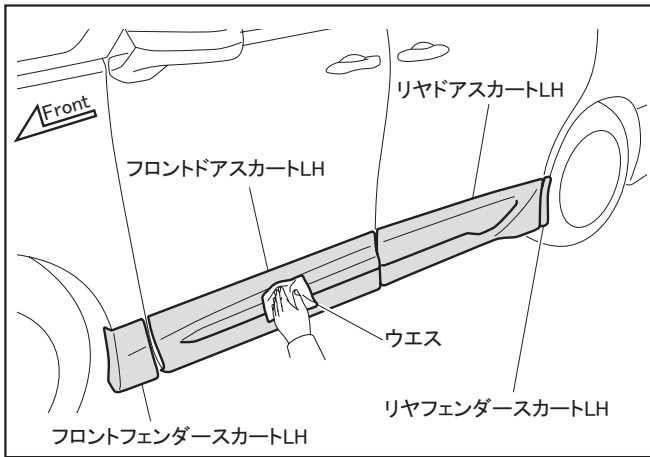


TG-CO-H16d

12. マスキングテープで仮止めした離型紙の端末（3箇所）を番号順で矢印方向へめくり、両面テープ部（3箇所）を 49N（5kgf）以上で圧着する。

⚠ 注意

1. ドアの裏側に手を添えて、相手部品を支えながら圧着してください。
2. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
3. より強固な接着力を促進するため、取り付け後 2～3 時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。



TG-CO-H14

13. 養生テープ及びマスキングテープをすべて剥がす。
14. きれいなウエスをあてがい、再度均等に全面を49N (5kgf) 以上で再圧着する。

⚠ 注意

こすりつけるような加圧は、剥がれ・傷付きの原因となりますので上から押し付けるように加圧してください。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

👉 アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。

製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ 警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落など重大な不具合が発生する可能性があります。

両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品 (MSD44-58002-NP/MSD44-58004-NP/MSD44-58006-NP/MSD44-58008-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。

下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

・ サイドスカートの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープ及びエンドモール貼り付け部(以降記載の「・各種組み付け作業」を参照)をマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。(本製品の素材は> PP <です)
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

⚠ 注意

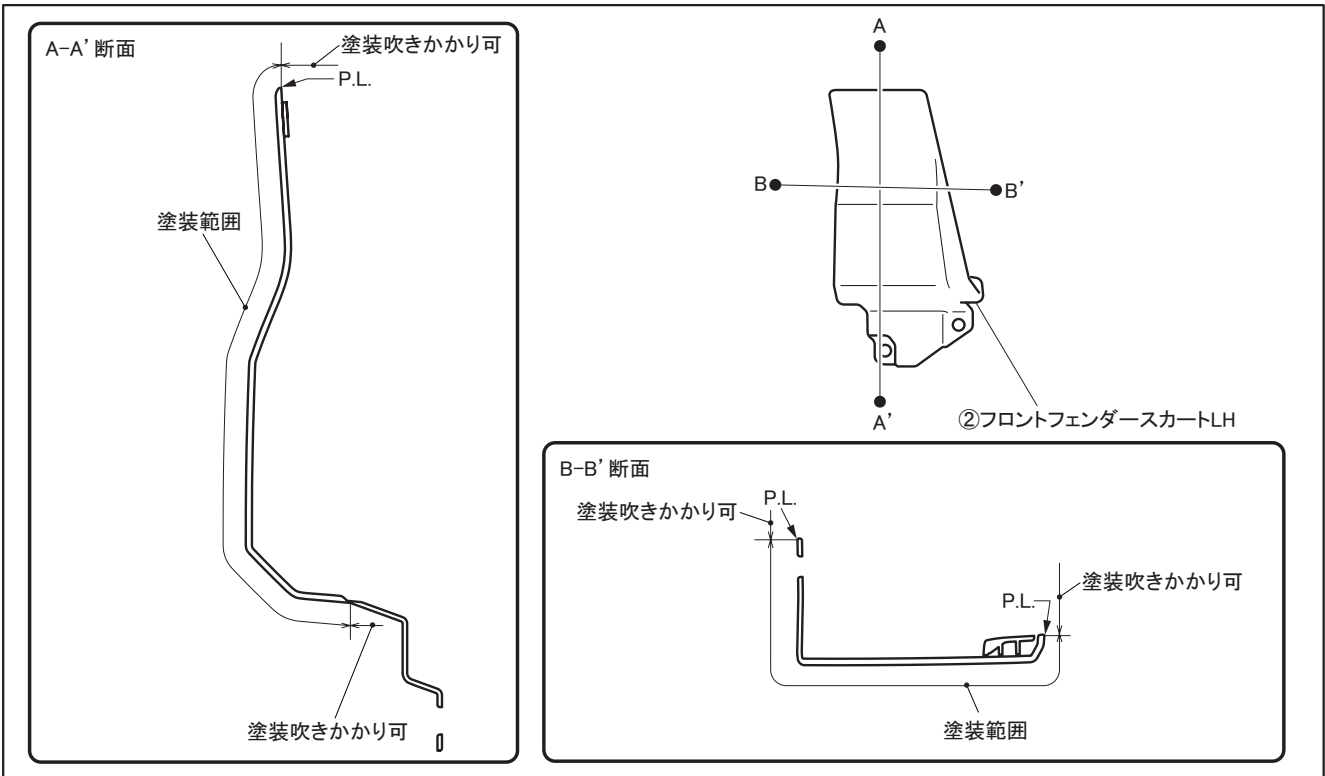
乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分に注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

・ 塗装範囲

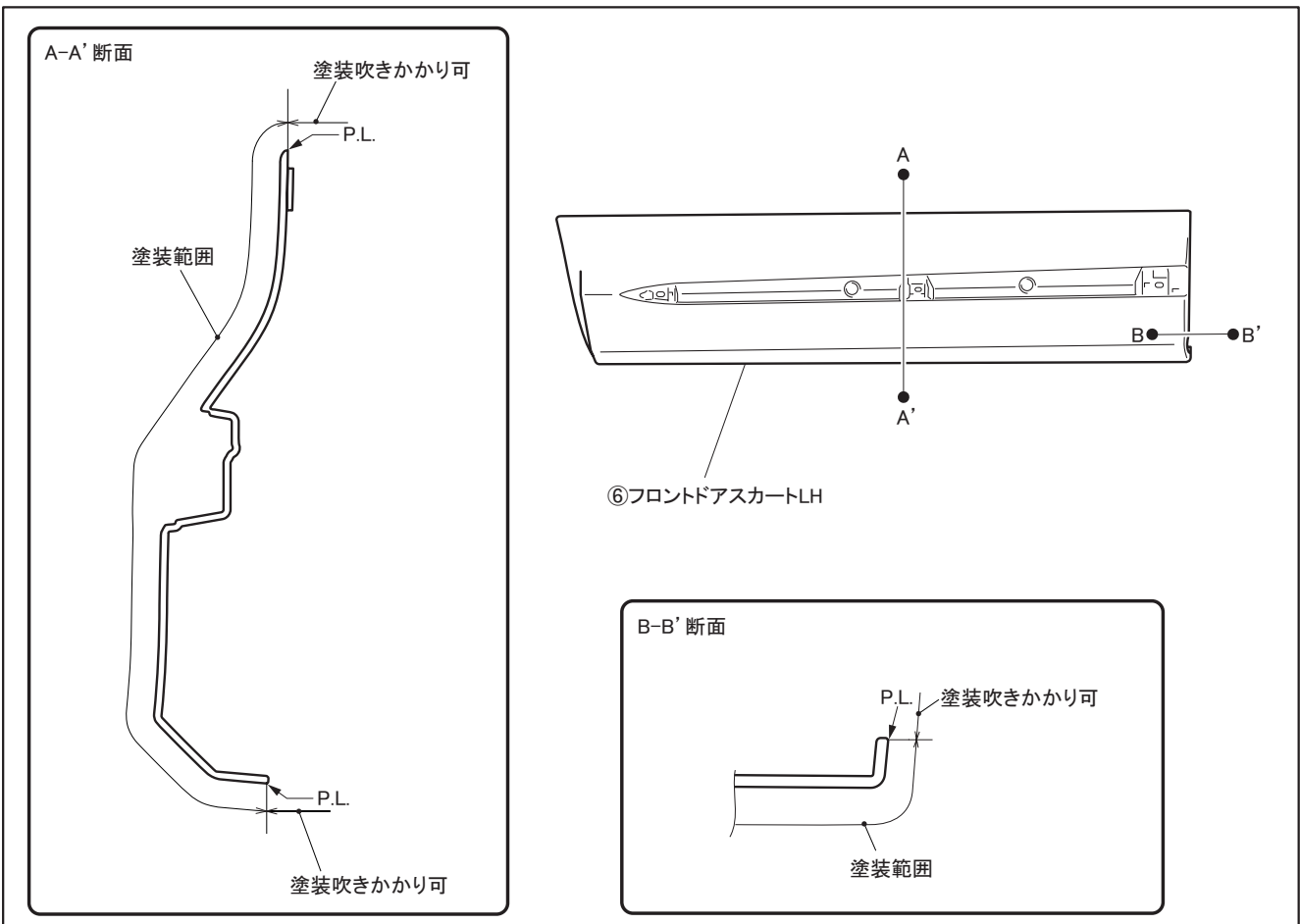
1. 塗装範囲をボデー色で塗装する。

👉 アドバイス

モールド貼り付け面は漏れなくマスキングしてください。

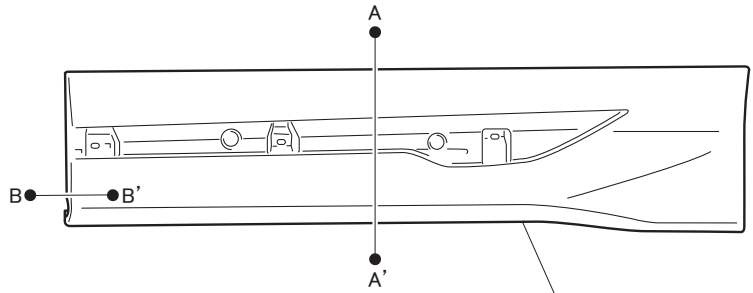
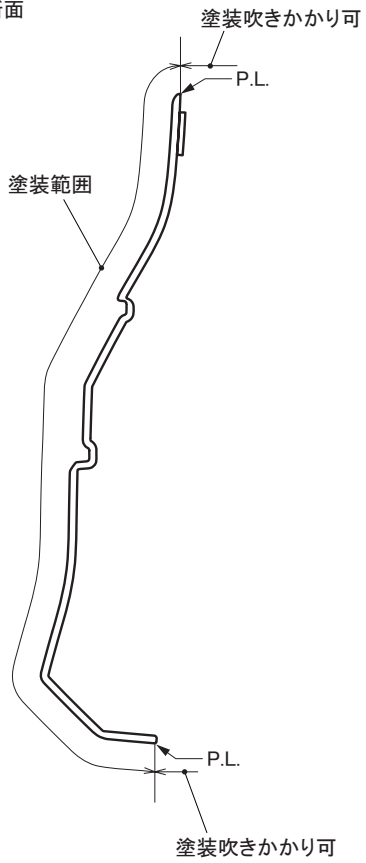


TG-CO-J01



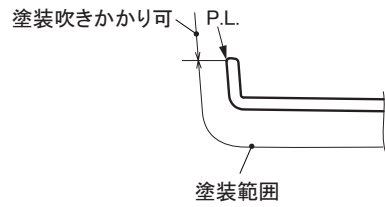
TG-CO-J02

A-A' 断面

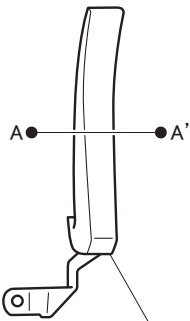


⑬リヤドアスカートLH

B-B' 断面

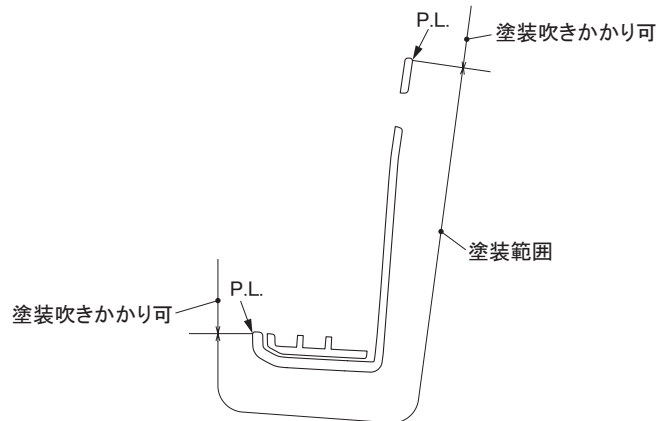


TG-CO-J03



⑭リヤフェンダースカートLH

A-A' 断面



TG-CO-J04

・エンドモール取付要領

1. サイドスカートのエンドモール貼り付け部分をイソプロピルアルコール（IPA）で脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

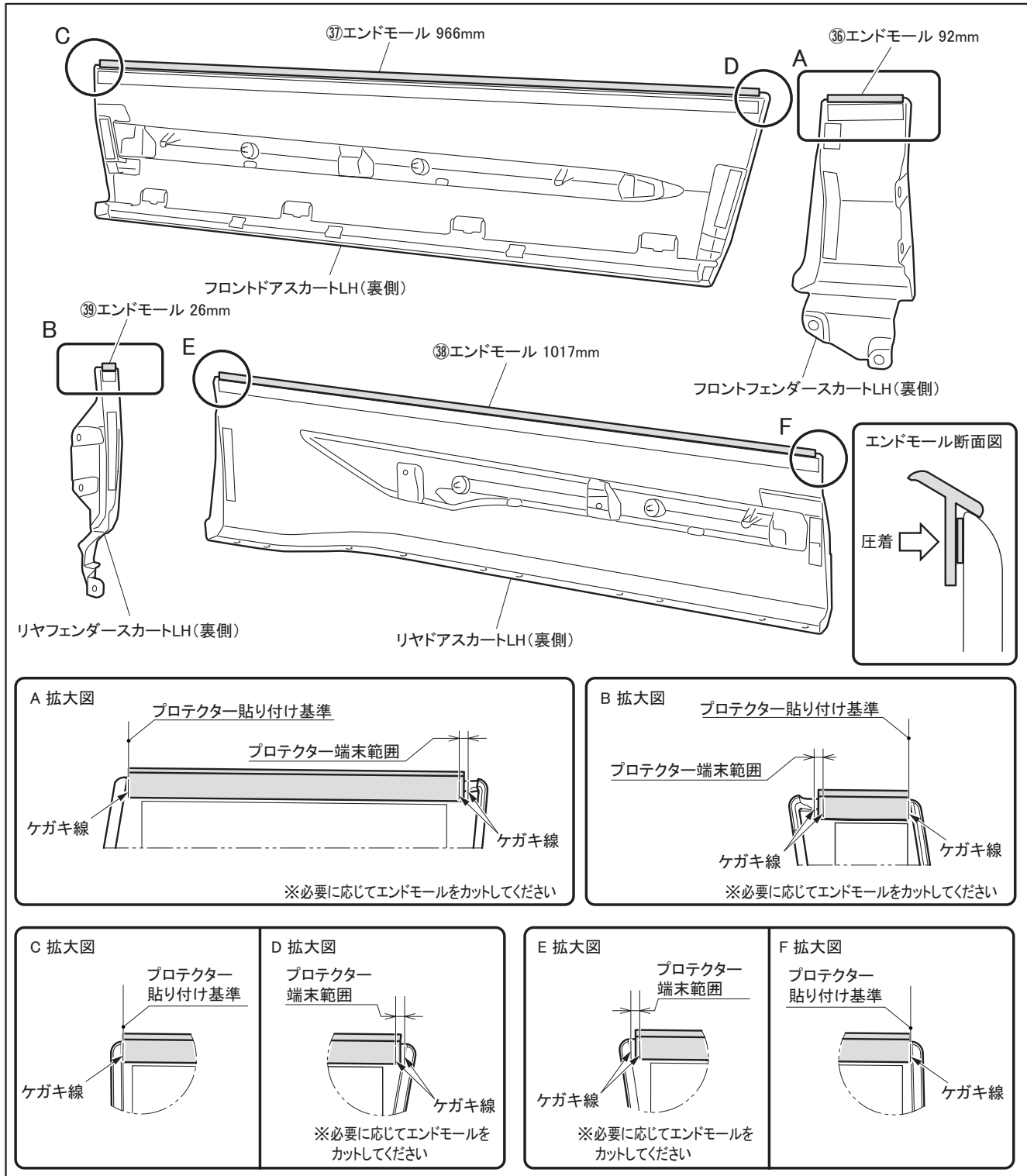
⚠ 注意

- ・ イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- ・ プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。

👉 アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。

2. 下図の要領でエンドモールを貼り付ける。



・ガーニッシュ取付要領

1. 図中、プライマー塗布範囲をイソプロピルアルコール（IPA）で脱脂し、PACプライマー N-200 を塗布する。

⚠ 注意

- ・ イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- ・ プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。

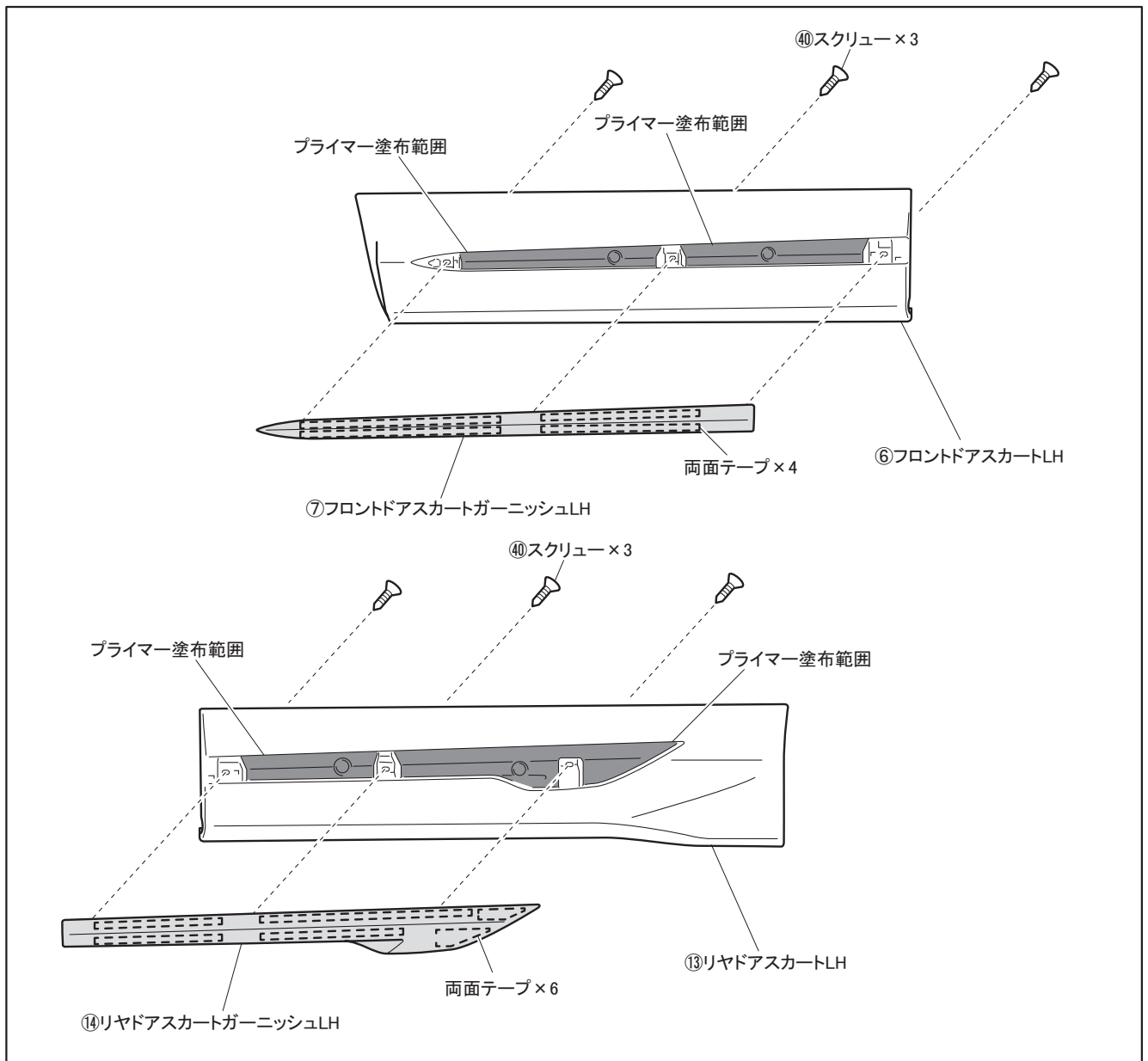
👉 アドバイス

- ・ PACプライマー N-200 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- ・ PACプライマー N-200 塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PACプライマー N-200 はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 両面テープ（フロントスカートガーニッシュ4箇所・リヤスカートガーニッシュ6箇所）及び④⑩スクリュー（各3本）でガーニッシュを取り付ける。

⚠ 注意

- ・ 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
- ・ より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置してください。また、脱落の恐れがある為、取り付け後24時間以内は水に濡らさないでください。



■ 補修キット両面テープ貼り位置

1. サイドスカートの両面テープ貼り付け部分をイソプロピルアルコール（IPA）で脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

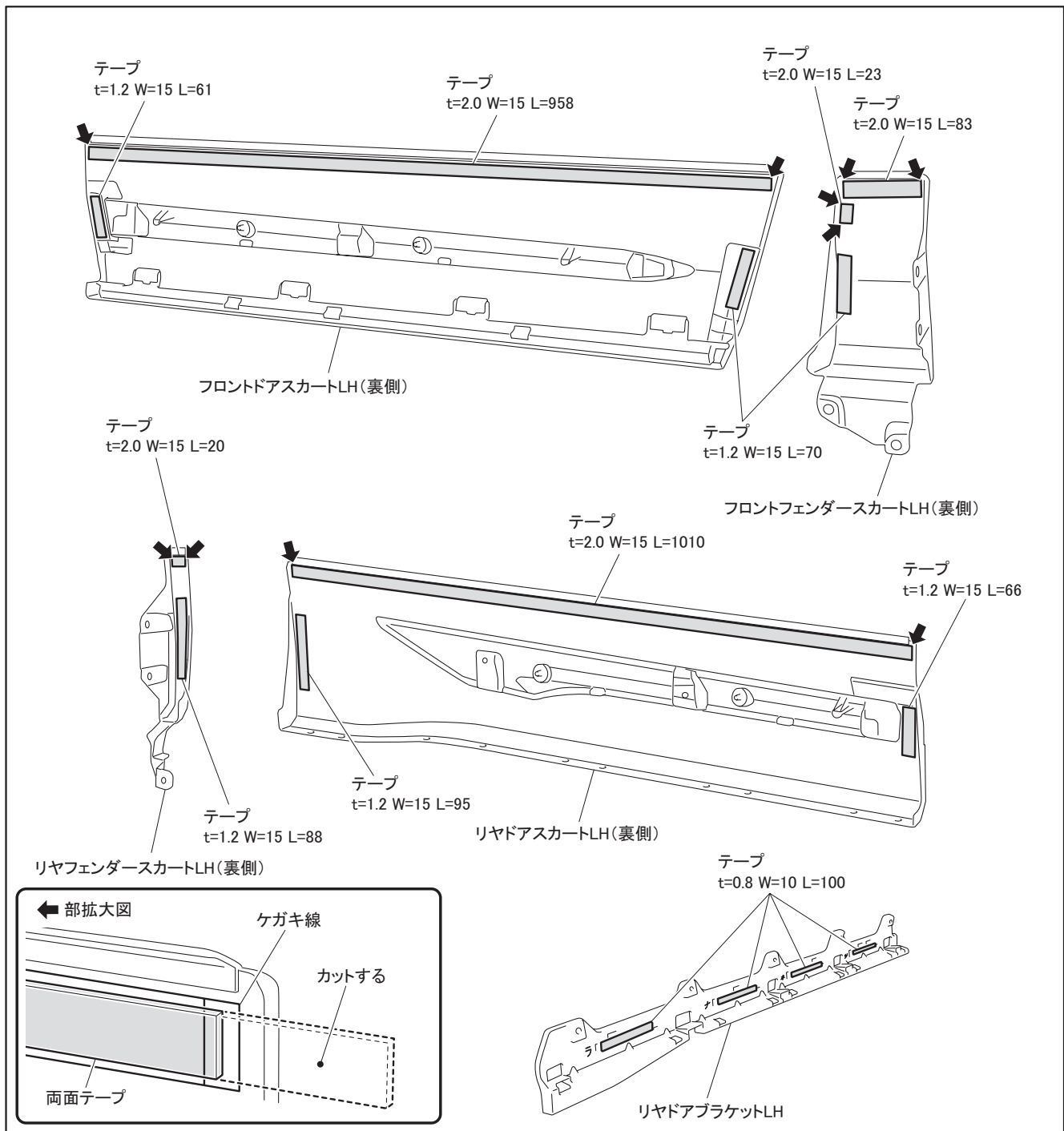
⚠ 注意

- ・ イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- ・ プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。

👉 アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分以上放置し、乾燥させてください。
- ・ PAC プライマー K-500 はサイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

2. 下図を参照に両面テープを選択し貼り付ける。



TG-CO-J07d

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

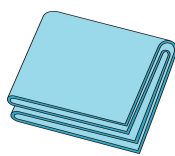


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



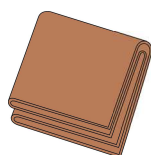
合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



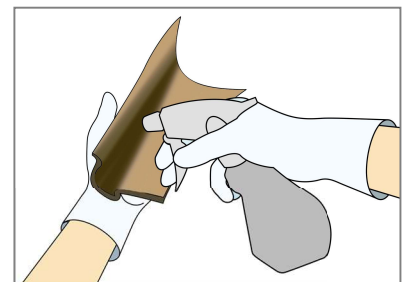
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

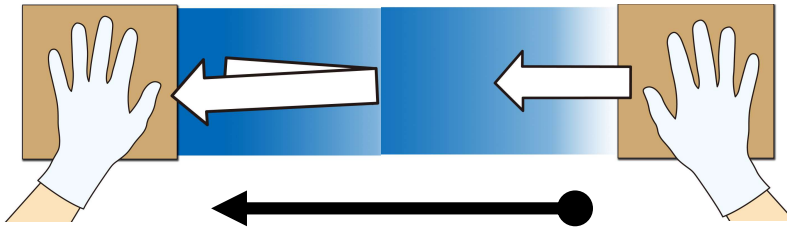
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

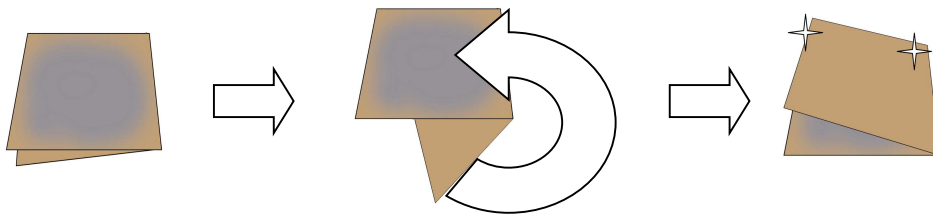
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。